

Smart Netcommunity

αA1

IPコードレス電話機

取扱説明書

このたびは、スマートネットコミュニティ αA1 IPコードレス電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。









技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお問い合わせになった販売店で求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

- 本商品は、VCCI協会の基準に基づくクラスA情報技術装置です。本商品を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事や修理は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（●P11）に従って消去願います。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。分解・改造は法律により禁止されています。
- この取扱説明書とともに、必ずご使用になっているスマートネットコミュニティ取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子が接触しないように、端子にテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

 **危険**

● 電池パックの充電は、本商品に装着し、専用の充電台を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

● 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

● 電池パックは、本商品専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

● 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- ・ 火の中に投入したり、加熱しない。
- ・ 直接はんだ付けしない。
- ・ プラス・マイナスを針金などの金属類で接触しない。
- ・ 水や海水につけたり、ぬらさない。
- ・ ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない。
- ・ 針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけない。

● 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

● 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

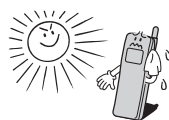


● 本商品や充電台および電源アダプターのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や充電台および電源アダプターに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



● 本商品や充電台および電源アダプターを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ・ こみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



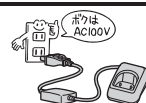
● 次のような場所で設置・使用しないでください。

- ・ 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- ・ 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。誤動作するなどの原因となることがあります。

お取り扱いについて

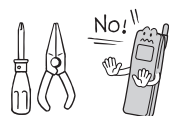


● 電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● 本商品を分解、改造しないでください。本商品の改造は電波法に抵触するおそれがあります。また、火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。



⚠ 警告

- 本商品や充電台および電源アダプターに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源アダプターの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、本商品の充電をやめ、充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 充電台の電源アダプターコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源アダプターコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプターコードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 充電台の電源アダプターコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源を切り、充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 万一、本商品を落としたり、本商品内部や充電台および電源アダプターに異物や水などが入った場合は、すぐに本商品の充電をやめ、電池パックを外し、充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

- 本商品から異常音が生じたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

● 充電台の電源アダプターは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプターを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

● 充電台の充電端子部分に、コインや指輪、クリップなどの金属類を置かないでください。金属類が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。



● 自動車などの運転中に、絶対に本商品を操作したり、見たりしないでください。交通事故の原因となることがあります。

● 歩行中に、絶対に本商品を操作したり、見たりしないでください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。

● 端子は定期的に乾いた綿棒等で清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、充電ができなくなることがあります。汚れた時は、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

● 本商品をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。



● 本商品を熱器具に近づけないでください。本商品の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。

● 近くに雷が発生したときは、すぐに充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜き、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



● 充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源アダプターコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



設置について

⚠ 注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - ・振動、衝撃の多い場所。



お取り扱いについて

⚠ 注意

- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 充電台の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜いてください。また、本商品の電池パックも取り出してください。
- 本商品や充電台をお手入れするときは、安全のため必ず充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、壊したりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

STOP お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、CS デジタル放送受信機、ラジオ、ファックス、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバーターエアコン、電磁調理器など）。

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。
- ・ テレビ、CS デジタル放送受信機、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・ CS デジタル放送受信機はシールド性の高いCS・BS 対応の分波器、分配器、接続ケーブルを使用してください。
- ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大ききときは、本商品の設置場所を移動してみてください。電波が強すぎるときは、本商品が使用できないことがあります。



- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）、亜硫酸ガスが発生する場所（工業地域の大気汚染環境）、アンモニアが発生する場所（工場内、下水処理場等の汚染環境）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

- 金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。

- 周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。
 - ・ 本商品からの通話圏外警報音と液晶ディスプレイのアンテナマークで電波の強さを確認し、通話できる範囲を確かめてください。

- 本商品を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。

- 本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。
 - ・ 無線アクセスポイントと IP コードレス電話機間、または IP コードレス電話機どうし間は 1m 以上離してご使用ください。

お取り扱いについて

STOP お願い

- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



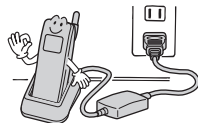
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。本商品は使用できません。

- 充電台の電源アダプターを抜いたままにしないでください。

- ・ 電池が消耗すると本商品が使用できません。
- ・ 本商品が充電できません。
- ・ 本商品のクイックモードが設定されている場合、充電中に充電台の電源アダプターが外れると、本商品はお話し中の状態となります。



- 本商品の電源はいつも「ON (入)」にしてください。「OFF (切)」になっていると、電話がかかってきても受けられません。お買い求め時は「OFF (切)」になっていますので、必ず「ON (入)」にしてからお使いください。

- 本商品は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に充電台に置き、充電ランプの点灯を確認してください。

- 本商品は、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。

- ・ ぬらさないでください。
- ・ 浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
- ・ 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
- ・ 受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- ・ IP コードレス電話機に水滴が付いたまま、充電台に戻さないでください。
- ・ ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。



- 本商品は無線 LAN を使用し、通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用しての関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

電波干渉について

本商品の無線方式には、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用する無線 LAN を用いています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、Bluetooth® など）が使用していますので、電波の干渉により、お話し中に音声が入り切れたり聞き取りにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響をおよぼす場合があります。下記の内容に注意してください。

STOP お願い

- 電子レンジなどを使用中に、近くで本商品を使用すると、音声が入り切れたり、使えなくなることがあります。充電台は電子レンジなどから離して設置し（目安：3 m 以上）、IP コードレス電話機本体も電子レンジなどの近くで使わないでください。
- ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から 3 m 以上離してください。雑音や映像の乱れの原因になります。
- 他の無線 LAN 機器（ルーター、AV 機器、防犯機器など）を使用している環境で本商品を使用すると、音声が入り切れたり、無線 LAN 機器の動作に影響を与えることがあります。本商品を、他の無線 LAN 機器からなるべく離してご使用ください。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声が入り切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作にも影響を与えることがあります。できるだけ、設置場所や使用場所を離してください。
 - ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - ・工場や倉庫などの物流管理システム
 - ・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
 - ・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - ・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
 - ・火災報知器
 - ・マイクロ波治療機
 - ・自動ドア、自動制御機器
 - ・アマチュア無線局
 - ・Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通網システム）など
- 本商品は、2.400 ~ 2.4835GHz の帯域を使用する無線設備を内蔵しています。移動体識別の帯域が回避可能で、変調方式は DS-SS 方式 / OFDM 方式を採用し、想定干渉距離は 40m です。本商品には、それを示す右のマークが貼り付けられています。

2.4DS/OF4




電波に関するご注意

本商品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、当社のサービス取扱所にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
- その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

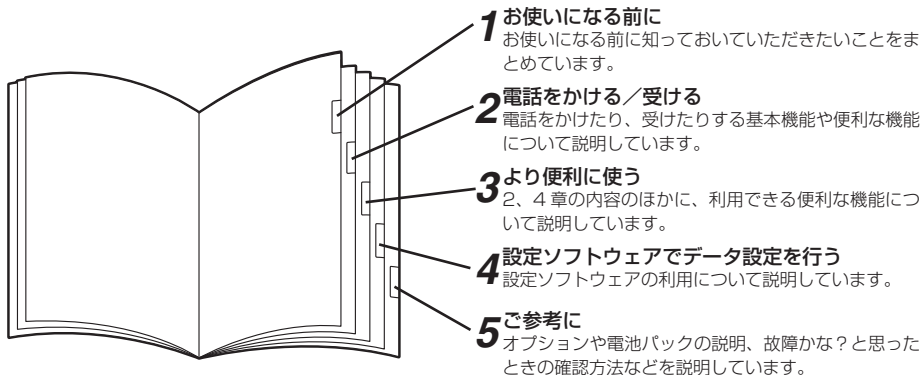
本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。下表の処置に従って情報を消去（ローカルデータ初期化）してください。

記録内容		処置
無線関連設定	SSID	<手順> ①待ち受け状態で  を2秒以上押す。 メニュー一覧が表示されます。 ②  を押す。 ローカル設定データ初期化画面が表示されます。 ③上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す。 初期化操作の確認画面が表示されます。 ④上下ボタンで「開始」を選択し、決定ボタンを押す。 ⑤  を押す。 IPコードレス電話機が自動的に再起動します。
	暗号化タイプ	
	IPアドレス	
	DNSサーバー	
	情報取得アドレス	
	情報取得ポート	

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書は、スマートネットコミュニティ α A1 の電話機としてご利用になれる IP コードレス電話機の機能を説明しています。主装置および無線アクセスポイントの取扱説明書とあわせて参照してください。

この取扱説明書の構成



●本書は、特に指定がない場合には、下記のような表記をしております。

- ・Smart Netcommunity α A1 IPコードレス電話機 → IPコードレス電話機
- ・Smart Netcommunity α A1 無線アクセスポイント → 無線アクセスポイント
- ・Smart Netcommunity α A1 主装置 → 主装置

操作説明ページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明しています。

1 お使いになる前に **本商品の電池使用開始日を設定/確認する**
本商品の電池使用開始日の設定と確認ができます。

電池使用開始日を設定する
電池使用開始日を設定するために、電池使用期間をリセットします。

- 待ち受け状態で、**OK**を2秒以上押す。
- OK**の順に押す。
電池使用期間リセット画面が表示されます。
- 上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す。
- 上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す。
電池使用開始日が設定され、「電池使用期間」メニューに戻ります。
- OK**を押す。
待ち受け状態に戻ります。

電池使用開始日を確認する

- 待ち受け状態で、**OK**を2秒以上押す。
- OK**の順に押す。
「電池使用期間表示」画面が表示されます。
- OK**を押す。
待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント
 ● 設定を中止するには、**ESC**を押します。

お知らせ
 ● 電池使用開始リセットは主要部に登録された状態で、行なうことができます。登録されていない状態で行うと次の画面が表示されます。
電池使用期間リセットが失敗したため、リセットできません。

電池使用期間表示画面
この画面が表示されたときは主要部に登録後やり直ししてください。決定ボタンまたは、クリアボタンを押すことで「電池使用期間」メニューに戻ります。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

お願いまたはお知らせ

<お願い>

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

<お知らせ>

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

目次

安全にお使いいただくために必ず お読みください	2
この取扱説明書の見かた	12

1 お使いになる前に

特長	17
セットを確認してください	18
各部の名前	19
このような画面が 表示されているときは	23
IP コードレス電話機の動作について	24
設定の流れ	25
本商品に電池パックをセットする	26
本商品を充電する	27
本商品と無線アクセスポイントを 接続する	28
WPS で接続する	28
メニュー設定で接続情報を 入力して設定する	30
本商品の電池使用開始日を 設定 / 確認する	34
電池使用開始日を設定する	34
電池使用開始日を確認する	34
音量を調節するには	35
受話音量を調節する	35
スピーカー受話音量を調節する	36
着信音量を調節する	37

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには（外線発信）	38
使用する外線を選んで電話をかける	38
電話がかかってきたときは（外線着信）	40

相手の方に待っていただくには（保留）	42
普通に保留する（共通保留）	42
他の電話機で取れないように保留する （個別保留）	43
同じパーク保留ボタンを設定した 電話機で取れるように保留する （パーク保留）	44
電話を取りつぐには	45
電話を取りつぐ（口頭転送）	45
電話を取りつぐ（保留転送）	46
内線でお話しするには	48
ドアホンとお話しするには	50
ドアホンからの呼び出しに応答する	50
ドアホンの周囲の音を聞く	51

3 より便利に使う

文字を入力するには（電話帳）	52
漢字・かなモード	52
カナモード／英字モード	53
数字モード	53
電話帳ダイヤルでかけるには	55
メモリー番号で検索してかける	55
フリガナで検索してかける	57
行で検索してかける	59
電話帳グループの電話番号を 検索してかける	61
電話帳に登録するには （電話帳ダイヤル）	63
電話帳に登録する	63
電話帳を編集するには	65
電話帳を削除するには	66
電話帳グループの名前をつけるには （個別電話帳）	67

発信履歴や着信履歴の電話番号を登録するには	68
前に電話をかけた相手に再びかけるには (発信履歴)	69
発信履歴を削除するには	70
発信履歴を選択して削除する	70
すべての発信履歴を削除する	71
電話をかけてきた相手にこちらからかけるには (着信履歴)	72
着信履歴を削除するには	73
着信履歴を選択して削除する	73
すべての着信履歴を削除する	74
キータッチトーンの設定をするには	75
着信を振動で知らせるには (バイブレーション)	76
バイブレーションを設定する	76
バイブレーションを解除する	76
マナーモードを設定するには	77
マナーモードの機能を設定する	77
マナーモードを設定する	78
マナーモードを解除する	78
誤操作を防止するには (端末ロック)	79
端末ロックを設定する	79
端末ロックを解除する	79
ロックナンバーを変更する	80
クイックモードを設定するには	81
クイックモードを設定する	81
クイックモードを解除する	81
液晶ディスプレイのコントラストを 変えるには	82

4 設定ソフトウェアでデータ設定を行う

設定ソフトウェアでデータ設定を行うには	83
お客様にご用意いただくもの	83
動作環境について	83
接続構成	83
機能一覧	84
インストール方法	85
設定画面を起動する	86
無線設定を設定する	87
アクセスポイント設定連携	89
機能設定を設定する	90
着信メロディー設定	92
設定データの保存・反映を行う	95
ログ情報を取得する	97
ファームウェアの更新を行う	98
設定ソフトウェアの環境設定を行う	100
設定ソフトウェアのバージョンを 確認する	102
設定ソフトウェアのエラーコード一覧	103

5 ご参考に

IP コードレス電話機設定一覧	104
最大通話状態における動作を 設定するには	107
最大通話数を設定する	107
最大通話時の動作設定をする	108
電池パックの取り扱い	109
電池の残量がなくなったときは	110
オプションをご利用になるには	111
通話できる範囲から外れたときは (圏外)	113

目次

こんな音がしたら	114
故障かな？と思ったら	115
用語の説明	118
索引	121
仕様	124
保守サービスのご案内	125
著作権と使用許諾	126
搭載されているソフトウェアの著作権と 使用許諾に関する情報	126

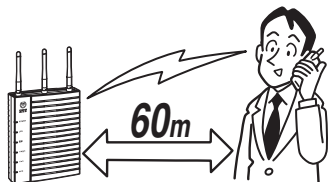
特長

無線LAN

IEEE802.11b/g対応の無線アクセスポイントを使用し、最大54Mbps（理論値）の高速データ伝送が可能です。

持ち運びが自由

無線アクセスポイントから半径約60 m程度（見通し距離）まで、お話ししながら移動できます。



豊富な電話機能

標準電話機と同等に、各種メニュー操作・マルチライン機能などをご利用いただけます。電話を受けられないときなどに録音する音声メール機能や、他の内線電話機との間でお話ししたり（●P48）、外の相手の方のお話しを他の内線電話機に取りつぐことができます。（●P45）



お好みの着信メロディーを選択

着信メロディーを選択して登録できます。また、着信メロディーを追加して、お好みのメロディーを設定することができます。



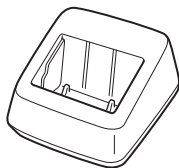
マナーモードやバイブレータ設定にも対応

会議中に使用する場合など、着信音を鳴らしたくないときのために、マナーモードやバイブレーターを利用することができます。

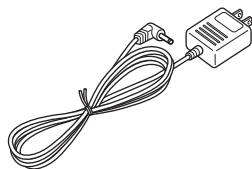
セットを確認してください



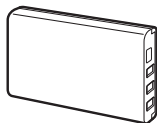
IPコードレス電話機
本体(1台)



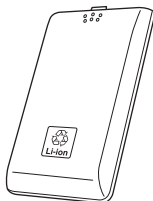
充電台(1台)



電源アダプター (1個)



電池パック(1個)



電池カバー (1個)

■付属品



取扱説明書ダイジェスト(1部)

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書ダイジェストに乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

着信／充電ランプ

電話がかかってきたときに点滅します。充電中は赤く点灯します。

外線ボタン

外に電話をかけるときに押します。また、主装置のデータ設定により、いろいろな機能を割り付けることができます。

メニューボタン

登録・設定操作のメニューを表示するときに使います。

内線ボタン

内線でお話するときに使います。

クリアボタン

入力した電話番号や文字を削除するとき、ひとつ前の画面に戻るときに使います。

通話／フックボタン

電話をかけるときや受けるときに使います。

ダイヤルボタン

電話番号や文字を入力するときに使います。

アンテナ

受話口

液晶ディスプレイ

ダイヤルモニターやいろいろな状態表示を行います。

機能／文字ボタン

他のボタンと組み合わせていろいろな機能を使ったり、文字の入力モードの選択に使ったりします。

上(短縮)ボタン／下(電話帳)ボタン／左(着信履歴)ボタン／右(発信履歴)ボタン／決定ボタン

電話帳やメニュー機能の検索、発着信履歴の確認に使います。受話音量、着信音量およびスピーカー音量を切り替えるときにも使います。

保留ボタン

電話を保留するときに使います。

切／電源ボタン

電源を入／切するとき、通話を終えるときに使います。

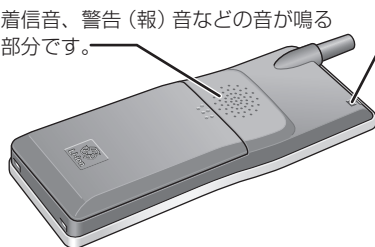


送話口

スピーカー口

着信音、警告(報)音などの音が鳴る部分です。

ハンドストラップ取付穴



イヤホンマイク差込口

市販のイヤホンマイクを差し込んで使用します。

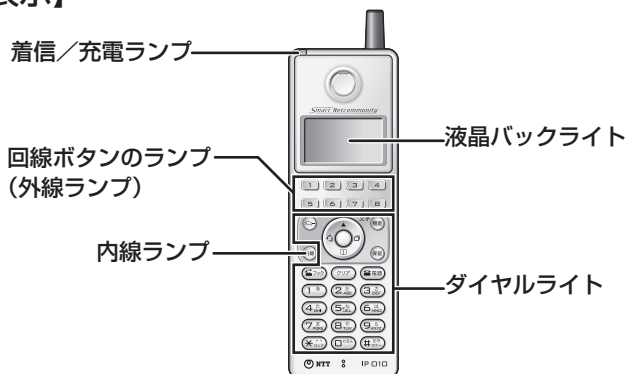
USB差込口

パソコンと接続して充電するときに使用します。

※ダイヤルボタン(5)の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

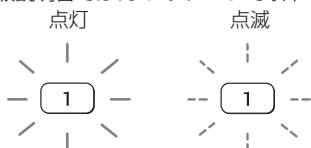
各部の名前

【ランプ表示】



■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。



ランプの種類	ランプのつきかた(色)	本商品の状態
外線ランプ (外線ボタン機能を割り当てられた外線ボタンのランプ)	2回消える (緑)	本商品でお話し中のとき
	点灯 (赤)	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき
	点滅 (赤)※	電話がかかってきたとき
	遅い点滅 (赤)	他の内線電話機が保留中のとき
	2回点灯 (緑)	本商品で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
内線ランプ	点滅 (赤)	内線で呼び出されているとき
	2回消える (緑)	本商品で内線通話をしているとき
	2回点灯 (緑)	本商品で内線通話を保留中のとき
ダイヤルライト	点灯 (緑)	ダイヤルボタンなどの操作をしているとき
液晶バックライト	点灯 (白)	
着信/充電ランプ	消灯	充電がほぼ完了したとき
	点灯 (赤)	充電中のとき
	遅い点滅 (赤)	正しい環境で使用されていないか、電池の異常で充電できないとき
	点滅 (赤)	電話がかかってきたとき

※個別着信の場合は緑色になります。

【液晶ディスプレイの見かた】

液晶ディスプレイ表示は、ご利用の回線によって異なります。

<日付・時刻・自分の内線番号表示例>



<通話時間表示例>



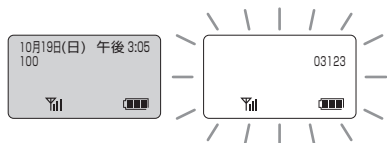
■液晶ディスプレイの表示例

待機中	10月19日(日) 午後 3:05 100 ▽ ████	待機中のときに表示されます。	(DP) 外線通話 (DP) 外線	030000XXXX 0-05 ▽ ████	ダイヤル回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
(DP) 外線発信	外線 ▽ ████	ダイヤル回線で外に電話をかけるときに表示されます。	(PB) 外線通話 (PB) 外線	030000XXXX PB 0-05 ▽ ████	プッシュ回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
(PB) 外線発信	外線 PB ▽ ████	プッシュ回線で外に電話をかけるときに表示されます。	(ISDN) 外線通話 (ISDN) 外線	030000XXXX ISDN PB 0-05 ▽ ████	ISDN回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
(ISDN) 外線発信	外線 ISDN ▽ ████	ISDN回線で外に電話をかけるときに表示されます。	(VoIP) 外線通話 (VoIP) 外線	030000XXXX VOIP PB 0-05 ▽ ████	IP電話サービスで外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
(VoIP) 外線発信	外線 VoIP ▽ ████	IP電話サービスで外に電話をかけるときに表示されます。	送出 キーパッド	030000XXXX ISDN PB キーパッド* 0-05 ▽ ████	キーパッド送出手が可能になるときに表示されます。



ワンポイント

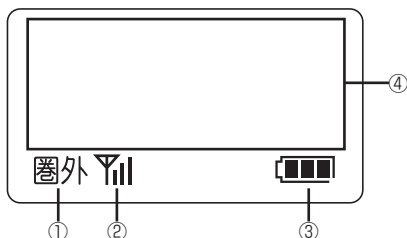
- 液晶ディスプレイの液晶バックライトとは
ボタン操作、着信したときに液晶ディスプレイの照明を点灯させて、より見やすくします。







<液晶バックライト消灯> <液晶バックライト点灯>

各部の名前

■マークの見方



① 圏外	無線アクセスポイントとの通信可能エリア外であることを表します。この表示があるときは、電話をかけたり受けたりできません。
② 	無線アクセスポイントから受けている電波の強さを4段階で表します。電話をかけるときはできるだけバーが2本以上立っているところで操作してください。
③ 	電池残量の目安を4段階で表します。電池中の表示がなくなり枠だけの表示になったら、できるだけ早めに充電するようにしてください。電池残量警報状態になったときは電池の枠が点滅します。
④ 表示部	入力されたダイヤル番号や各種の状態を表示します。次の表示で各種の状態をお知らせします。 ・「  」：端末ロック(●P79) ・「  」：マナーモード(●P77)



ワンポイント

●「システム設定」とは

主装置の設置時にあらかじめ登録・設定しておくもので、システムの基本的な機能・動作を決めるものです。設置以後の設定内容の変更については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。



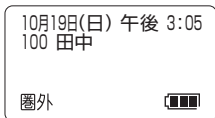
お知らせ

- 表示内容は、「システム設定」によって異なることがあります。
- 通話時間は、保留などを行うといったん表示は消えますが、保留を解除すると保留中の時間も含めて経過した通話時間が表示されます。

このような画面が表示されているときは

圏外マークが表示される時

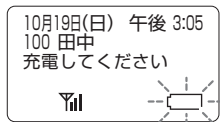
サービスエリア以外の場所や、電波の弱い場所にいるために、電話をかけたり受けたりできません。



対処方法: 電波マークが表示されるように電波状態のよい場所まで移動してください。

電波マークが点滅し、「充電してください」と表示されている時

電池がなくなりかけています。このとき、「ピー」という電池残量警報音が鳴ります。(●P110)



対処方法: 本商品を充電してください。
<本商品を充電する>(●P27)

🔒マークが表示される時

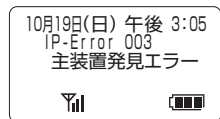
誤操作を防止する端末ロックが設定されています。



対処方法: 端末ロックを解除してください。
<端末ロックを解除する>(●P79)

「IP-Error」と表示されている時

主装置と接続できていないため、通話できません。



対処方法: IPコードレス電話機が正しく設定されているか、また、ネットワークが正しく接続されているか、確認してください(無線アクセスポイント等の電源をご確認ください)。

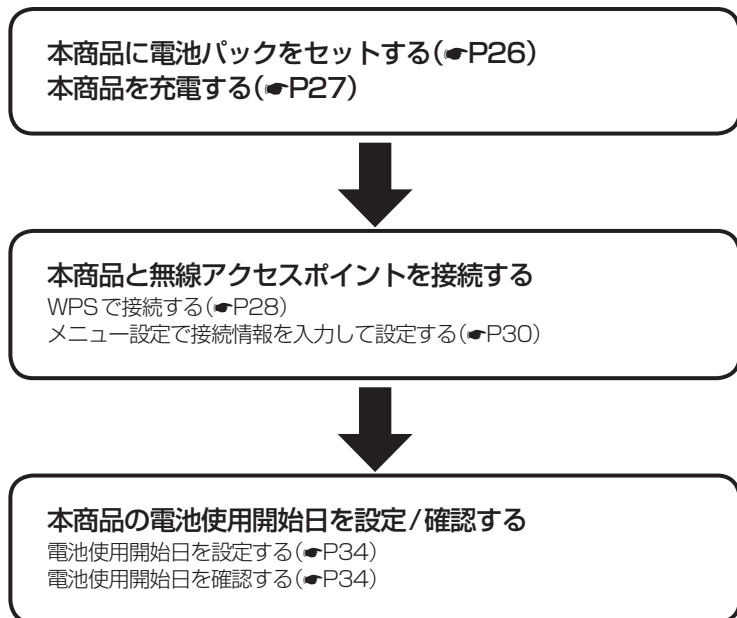
不明な場合は、当社のサービス取扱所またはお問い合わせになった販売店へご相談ください。

IPコードレス電話機の動作について

- 使用中や充電中、IPコードレス電話機があたたかくなることがありますが、故障ではありません。そのままご使用ください。
- 下記のような場合には、IPコードレス電話機の通信品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
 - 無線アクセスポイントから受けている電波が弱い場合
 - 他の無線LANシステムや、電子レンジ等の外来ノイズが多い場合
 - IPコードレス電話機をコンクリート壁などで区切られているなど、遮蔽物の多い場所で使用した場合
- 相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。
- 主装置に複数の無線アクセスポイントを接続することにより、IPコードレス電話機を使用する範囲を広くすることができます。
無線アクセスポイントの増設については当社のサービス取扱所にご依頼ください。

設定の流れ

本商品に電池パックをセットし充電を行い、無線設定を行うための手順について説明します。



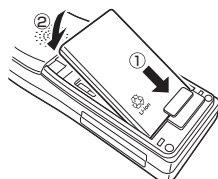
本商品に電池パックをセットする

本商品に電池パックをセットする手順について説明します。

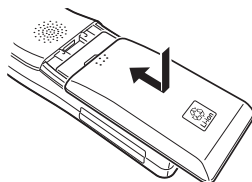
■本商品に電池パックをセットする

- 1 下部の電極に押し当てながら (①)、電池パックを本商品にセットする (②)。

電池パックの印刷面が表になるようにセットしてください。




- 2 同梱の電池カバーを取り付ける。



- 3  を2秒以上押す。
本商品が起動します。

しばらくお待ち下さい

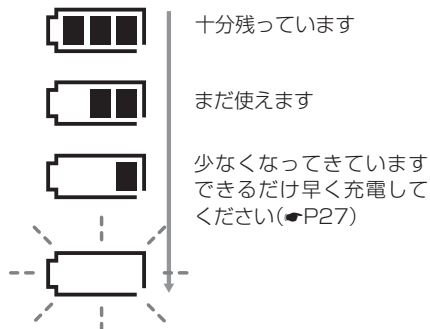


A1-CL V01.00
しばらくお待ち下さい
圏外 

■電池残量を確認する

電池残量は、液晶ディスプレイに表示されます。電池残量はご利用いただける目安の表示です。

電池残量



電池パックを交換したときは、必ず6時間以上充電してください。(●P109)

(電池の使用可能時間の目安)

連続通話時間	約5.5時間
連続待ち受け時間	約100時間

- 連続通話時間は常温での算出値です。周囲の温度や電池の状態によって変わります。
- 連続待ち受け時間は、無線アクセスポイントからの電波が安定している場所における算出値です。電波の弱い場所、電波の届かない場所では電池の消費が多いため、表中の数値とは異なります。
- 外線ランプが表示されていると電池の消費が多くなり、表中の数値とは異なります。数値は外線ランプの使用状態により変わります。
- 「充電してください」の表示が出た場合は、通話中、発信中以外はダイヤルボタンが入力できなくなります。

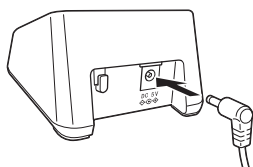
本商品を充電する

本商品を充電する手順について説明します。

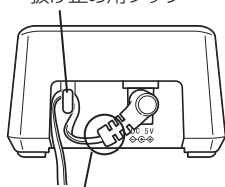
■本商品を充電する

充電台は、必ず同梱されている専用の充電台と電源アダプターをお使いください。

- 1** 電源アダプタープラグを充電台の電源アダプターコード差し込み、電源アダプターコードを抜け止め用フックに掛ける。

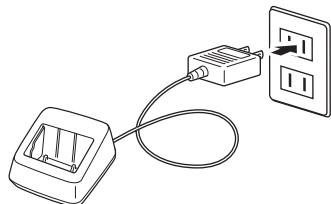


抜け止め用フック



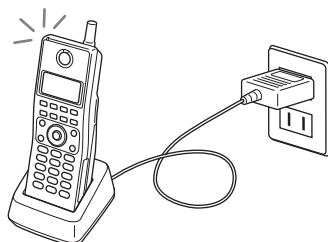
電源アダプターコードが、コネクタの根元で折れ曲がらないようにご注意ください。

- 2** 電源アダプターを電源コンセント (AC100 V) に差し込む。



- 3** 本商品を充電台に置き、6時間以上充電する。

充電台に置いたとき、充電ランプが赤く点灯することをご確認ください。



お知らせ

- 本商品の充電ランプは、充電がほぼ終了すると消灯に変わります。
- 充電中は、充電台や本商品があたたかくなることがありますが故障ではありません。
- 充電中は自動的に電源が入ります。

STOP お願い

- はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは、必ず6時間以上充電してください。十分に充電されていない場合は、本商品は使用できません。
- 本商品および充電台がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取ってから充電してください。
- 充電は周囲の温度が5～35℃の間で行ってください。5℃以下や35℃以上のときは正しく充電できないことがあります。
- 充電が正しく行われていないと、本商品の充電ランプが赤く点滅します。電池が古くなったり壊れたりしているときにも赤く点滅します。このときは電池パックの交換が必要です。当社のサービス取扱所にお申し付けください。
- 電池残量が極めて少ない場合は、充電台に置いてても充電ランプが点灯しないときがあります。電池が古くなったり壊れたりしていなければ、約5分ほどで充電ランプが点灯します。


本商品と無線アクセスポイントを接続する

本商品をご使用になるためには、無線アクセスポイントと接続することが必要です。無線アクセスポイントとの接続は、WPSで行うことができます。もしくは、無線アクセスポイントに合わせて以下の設定をします。
 ・SSID ・セキュリティー ・暗号キー ・IPアドレス ・スキャンチャンネル
 また、設定ソフトウェアを使用して設定することもできます。(●P87)

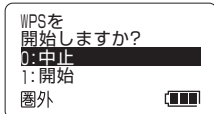
WPSで接続する

無線アクセスポイントをWPS（プッシュボタン方式）で開始してください。操作方法については、無線アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

1 接続する無線アクセスポイントにて、WPSを開始する。

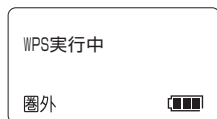
2 待ち受け状態で、を2秒以上押す。

3  の順に押す。



4 上下ボタンで「開始」を選択し、決定ボタンを押す。

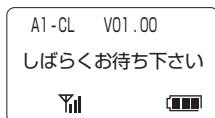
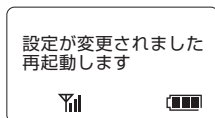
WPSが開始します。



5 WPS成功




6 再起動します。

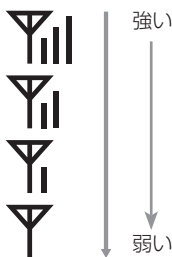


待ち受け画面には、日付、時刻、内線番号が表示されます。

■電波の状態を確認する

電話をかけたり受けたりすることができる状態のときは、液晶ディスプレイに  が表示されます。また5段階で電波の強さを表示します。

電波の強さ



圏外

お話しできる範囲から外れている

- 圏外では、お話しすることはできません。(P113)





お知らせ

- WPSに失敗した場合、「WPS失敗」が表示されます。その際は、再度WPSによる接続を行ってください。
- WPSに成功した場合、下記の項目に通知された情報が設定されます。
 - ・SSID情報
 - ・セキュリティ情報
- IPアドレスは有効に設定されます。固定のIPアドレスを設定する場合は、メニュー設定から操作を行ってください。
- WPSでの接続結果に関わらず、完了後は再起動します。
- 1台の無線アクセスポイントに、複数のIPコードレス電話機を同時にWPSで接続することはできません。
- WPS中のスキャンチャンネル設定に関係なく全チャンネルをスキャンします。
- スキャンチャンネルはWPSで設定されないため完了後、無線アクセスポイントの設定と合わせてください。
- WPSは押しボタン方式のみ対応しています。

ワンポイント

- **接続情報設定に空きがないときは**
「接続情報設定に空きがありません」と表示されます。その際は不要な接続情報を削除し、再度WPSで接続を行ってください。
- **電池残量が不足しているときは**
「電池残量が足りません」と表示されます。その際は充電を行い、再度WPSで接続を行ってください。

お知らせ

- 、 では電波が弱いため、途切れることがあります。 で使用することをお勧めします。
- 電波状態によっては、 と表示されていても、通話が途切れることがあります。
- 無線アクセスポイントから60 m以内の場所でも、周囲の環境によりお話しできない場合があります。あらかじめ、お話しできる範囲を確認しておくことをお勧めします。
- 電波の弱い場所では、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。
- 通話中に圏外になると、通話が切れることがあります。速やかに電波状況の良い場所に移動してください。

本商品と無線アクセスポイント を接続する

メニュー設定で接続情報を入力して設定する

■接続情報設定を設定する

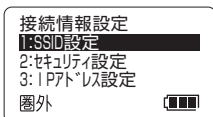
1 を2秒以上押す。

2 の順に押す。
「接続情報設定」画面が表示されます。



3 上下左右ボタンで項目を選択し、決定ボタンを押す。

<例>「01 wireless」を選択した場合



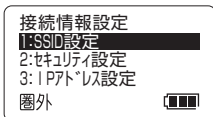
4 上下ボタンで「SSID設定」を選択し、決定ボタンを押す。

「SSID設定」画面が表示されます。



5 SSIDを入力し、決定ボタンを押す。

半角32文字まで入力することができます。
決定ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。



6 上下ボタンで、「セキュリティ設定」を選択し、決定ボタンを押す。

「セキュリティ設定」画面が表示されます。



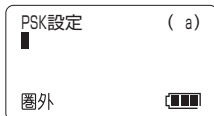
7 上下ボタンで、セキュリティー種別を選択し、決定ボタンを押す。

<例>「WPA2-PSK」を選択した場合



8 上下ボタンで、暗号方式を選択し、決定ボタンを押す。

<例>「AES」を選択した場合



ワンポイント

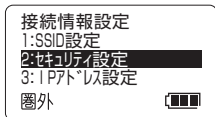
●使用できるセキュリティーは

次の4種類のセキュリティーが使用できます。

- ・WEP64bit
- ・WEP128bit
- ・WPA-PSK
- ・WPA2-PSK

9 PSK 設定を入力し、決定ボタンを押す。

クリア を 2 回押し、二つ前の画面に戻ります。



10 上下ボタンで「IPアドレス設定」を選択し、決定ボタンを押す。

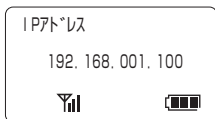
「IPアドレス設定」画面が表示されます。



11 上下ボタンでDHCPの設定を選択し、決定ボタンを押す。



<「DHCP ON」を選択した場合>
決定ボタンを押し、手順 14 へ進みます。
<「DHCP OFF」を選択した場合>

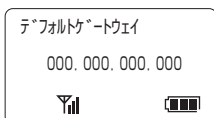


手順 12 へ進みます。

12 IPアドレスを入力し、決定ボタンを押す。



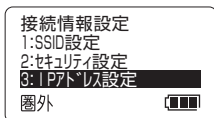
13 サブネットマスクを入力し、決定ボタンを押す。



14 デフォルトゲートウェイを入力し、決定ボタンを押す。

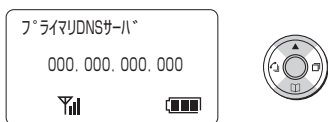
クリア を押し、ひとつ前の画面に戻りません。

DNS サーバーの設定が必要な場合は、手順 15 へ進んでください。設定しない場合は、手順 18 へ進みます。

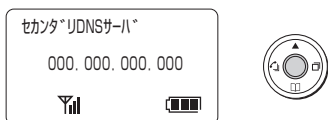


本商品と無線アクセスポイントを接続する

- 15** 上下ボタンで「DNSサーバ設定」を選択し、決定ボタンを押す。
「プライマリDNSサーバ」設定画面が表示されます。




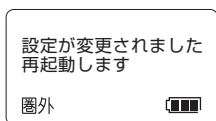
- 16** プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを入力し、決定ボタンを押す。



- 17** セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを入力し、決定ボタンを押す。



- 18**  を押す。
メッセージが表示され約5秒後に、再起動し設定を保存します。
再起動後は、待ち受け画面が表示されます。



ワンポイント

- 文字を入力するには (←P54)
- 設定ソフトウェアで設定するには (←P87)

お知らせ

- 接続情報は最大20個まで登録できます。
- IPアドレス設定の初期値は、自動的に取得する (「DHCP ON」) 設定になっています。
- 固定IPアドレスを使用している場合は同一ネットワークのIPアドレスを設定してください。

本商品の電池使用開始日を設定/ 確認する

本商品の電池使用開始日の設定と確認ができます。

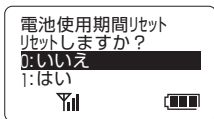
電池使用開始日を設定する

電池使用開始日を設定するために、電池使用期間をリセットします。

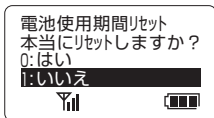
1 待ち受け状態で、**(X-1)** を2秒以上押す。

2 **(4 た GH)** **(2 か ABC)** の順に押す。

「電池使用期間リセット」画面が表示されます。

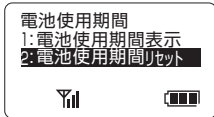


3 上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す。



4 上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す。

電池使用開始日が設定され、「電池使用期間」メニューに戻ります。



5 **(電源)** を押す。

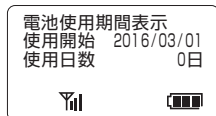
待ち受け状態に戻ります。

電池使用開始日を確認する

1 待ち受け状態で、**(X-1)** を2秒以上押す。

2 **(4 た GH)** **(1 あ)** の順に押す。

「電池使用期間表示」画面が表示されます。



3 **(電源)** を押す。

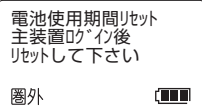
待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- 設定を中止するには
切ボタンを押します。

お知らせ

- 電池使用期間リセットは主装置に登録された状態で、行ってください。
登録されていない状態で行うと次の画面が表示されます。



この画面が表示されたときは主装置に登録後やり直してください。

決定ボタンまたは、クリアボタンを押すことで「電池使用期間」メニューに戻ります。

音量を調節するには

受話音量を調節する

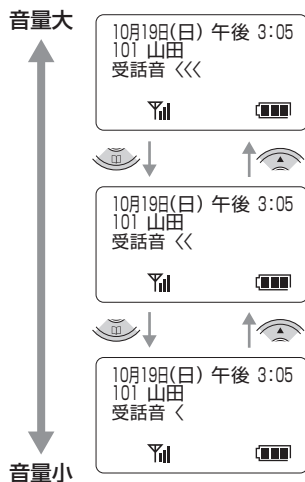
通話中に受話音量を3段階に調節できます。

- 1 通話中に上ボタンまたは下ボタンを2秒以上押す。



- 2 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番に受話音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。



お知らせ

- 音量が最大のときに上ボタンを、最小のときに下ボタンを押しても、音量や液晶ディスプレイの表示は変わりません。
- 設定した受話音量は、通話を終了しても保持されます。
- 受話音量設定後すぐに電源を切ると、設定が保持されないことがあります。

音量を調節するには

スピーカー受話音量を調節する

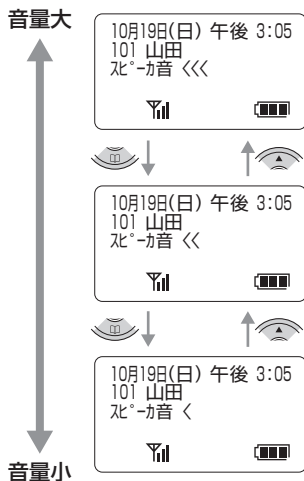
スピーカー受話中に受話音量を3段階に調節できます。

- 1** 音声呼出されているとき（スピーカー受話中）に上ボタンまたは下ボタンを2秒以上押し。



- 2** 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番にスピーカー受話音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。



お知らせ

- 音量が最大のときに上ボタンを、最小のときに下ボタンを押しても、音量や液晶ディスプレイの表示は変わりません。
- 設定したスピーカー受話音量は、通話を終了しても保持されます。
- スピーカー受話音量設定後すぐに電源を切ると、設定が保持されないことがあります。

着信音量を調節する

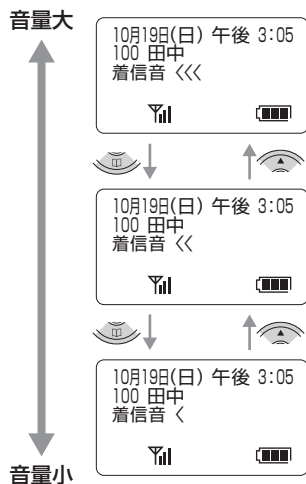
電話がかかってきたことをお知らせする着信音の大きさを3段階に調節できます。

- 1** 待ち受け状態または着信中に、上ボタンまたは下ボタンを2秒以上押す。



- 2** 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番に着信音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。



お知らせ

- 音量が最大のときに上ボタンを、最小のときに下ボタンを押しても、音量や液晶ディスプレイの表示は変わりません。
- 着信音量の設定は、電源を切っても保持されます。
- 着信音量設定後すぐに電源を切ると、設定が保持されないことがあります。
- マナーモードの機能を設定する(▶P77)

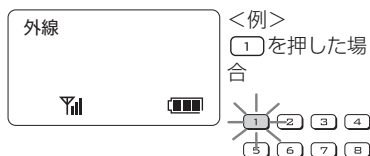
電話をかけるには(外線発信)

発信音を確認してからかける方法と、電話番号を確認してからかける方法があります。

使用する外線を選んで 電話をかける

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。



3 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、を押す。

お知らせ

- 外線ランプが赤く点灯しているときは、他の内線電話機が外の相手の方とお話中です。外線ボタンを押しても電話をかけることはできません。
- 外線ボタンを押しても「ツー」という発信音が聞こえないときは、その外線ボタンは使用できません。
- PBX（構内交換機）などに収容されているときは、PBXの外線発信番号を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。
- 通話時間は、最大9時間59分59秒「9-59-59」まで表示されます。10時間以上になっても表示は変わりません。



- 通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合もありますので、目安としてご利用ください。



ワンポイント

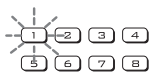
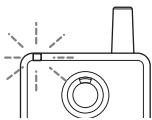
- **☎️を押すだけで、空いている外線を選んで電話をかけるには**
「システム設定」により「発信自動捕捉」を設定する必要があります。(システム設定:発信自動捕捉▶主装置の取扱説明書)
- **相手の方の声が聞き取りにくいときは(受話音量)**
(▶P35)
- **即時発信するときは**
INSネット64およびIP電話サービスを利用して発信するときは、手順2のあとに続けて ☎️ を押すと、すぐに発信できます。 ☎️ を押さない場合は、「システム設定」で設定された時間が経過すると自動的に発信します。
- **ブッシュホンサービスを利用するには**
外線通話中、液晶ディスプレイに「PB」と表示されないときはダイヤル回線です。 ☎️ を押すと、液晶ディスプレイに「PB」と表示され、ブッシュホンサービスをご利用になれます。
- **通話時間が一定時間を超えたときは(長時間通話警報)**
「システム設定」によって内線電話機ごとに長時間通話警報を設定すると、外へ電話をかけたときに、「システム設定」された通話時間が経過すると「ビビ」という警報音が鳴ります。液晶ディスプレイには「長時間警報」と表示されます。その後、「システム設定」された時間ごとに警報音が鳴ります。
- **サブアドレスを追加して発信するときは**
INSネット64をご利用の場合は、サブアドレスを使用することができます。手順2のあとに ☎️ を押し、続けてサブアドレスをダイヤルボタンで押してください。
- **緊急番号ダイヤルについて**
一部のIP電話サービスから緊急番号(「110」、「118」および「119」)へ発信を行ったときは、自動的にINSネット64または、一般加入電話回線から発信します。すべての外線が使用中の場合は、「ブー……」という話中音が聞こえます。

電話がかかってきたときは(外線着信)

外から電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。

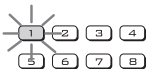
着信音が鳴ったら・・・

着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。



1 ランプが点滅している回線ボタンを押し、相手の方とお話する。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。



2 お話が終わったら、を押す。



ワンポイント

- 着信音の音量を変えるには(●P37)
- 相手の方の音が聞き取りにくいときは (受話音量) (●P35)
- 着信を振動で知らせるには(●P76)
- マナーモードを設定するには(●P77)
- 続けてかかってきた電話に应答するには
《お話し中の相手の方に待っていただく場合は》

共通保留の操作を行い(●P42)、着信している回線ボタン(ランプが赤く点滅)を押します。




《お話しを終わらせて应答する場合は》

着信している回線ボタン(ランプが赤く点滅)を押します。このとき、それまでの通話は切れます。


- 一定時間内に应答しなかったときは(着信未应答通知)
「システム設定」によって内線電話機ごとに着信未应答通知を設定すると、「システム設定」した一定時間内に应答しなかったときに、着信先が他の内線電話機や音声メールに切り替わります。



ワンポイント

- 電話がかかってきたときに複数の電話機で着信音を鳴らすには(放送着信)
「システム設定」によって、電話がかかってきたときに、同時に複数の電話機で着信音を鳴らすことができます。
- を押すだけで应答するには
「システム設定」により「オフフック外線应答設定」を設定する必要があります。(システム設定: オフフック外線应答設定 ● 主装置の取扱説明書)
<「オフフック外線应答設定」を設定した場合に、相手先を選んで应答するには>
複数の回線や内線に着信しているときに、相手先を選んで应答したい場合は、ではなく、回線ボタンやを押してください。
- お話中に内線電話機からの着信を知らせるには
「システム設定」により「話中着信種別」を設定する必要があります。
外線または内線でお話中に電話がかかってきたとき、受話口より話中着信音が鳴ります。

お知らせ

- 外の相手の方とお話中に、保留にしないで他の回線ボタンを押すと通話が切れてしまいますのでご注意ください。
- 他の人が先に応答したときは、「ブーブー…」という話中音が聞こえ、外線ランプが赤く点灯したままになります。
- 外線着信中に  を押すと一時的に着信音を停止することができます。
- 通話時間は、最大9 時間59 分59 秒「9 - 59 - 59」まで表示されます。10 時間以上になっても表示は変わりません。



- 通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合もありますので、目安としてご利用ください。

相手の方に待っていただくには(保留)

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留機能をご利用ください。相手の方へは保留メロディーが流れます。

保留には、下記の3通りがあります。

- ・共通保留 保留にしたあと、他の内線電話機でも電話に出ることができます。
- ・個別保留 保留にしたあと、他の内線電話機では電話に出られません。
- ・パーク保留 同じパーク保留ボタンを設定した内線電話機で電話に出ることができます。

普通に保留する(共通保留)

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

お待ちください。



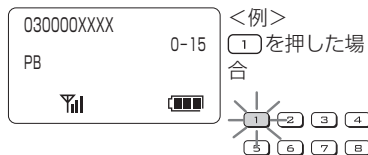
1 **保留**を押す。

相手の方には保留メロディーが流れます。外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。



2 お話しに戻るときは、保留にしている回線ボタンを押して、相手の方とお話する。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。通話時間が表示されます。



3 相手の方とお話する。

お待ちせ
ました。



ワンポイント

- 他の電話機で保留を解除するには(口頭転送) 保留にしている回線ボタンを押すと、他の内線電話機で電話に出ることができます。(P45)
- 保留したままにしておく(長時間保留警報) 保留にした電話機のスピーカーから保留警報音が鳴るように設定することができます。

お知らせ

- 外線ボタンに登録されている外線を保留にしたときは、個別保留となります。(P43)

他の電話機で取れないように保留する (個別保留)

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

お待ちください。



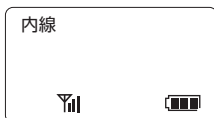
1 (機能) を押す。



2 (保留) を押す。

相手の方には保留メロディーが流れます。

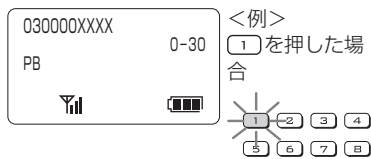
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。



3 お話しに戻るときは、保留にしている外線ボタンを押して、相手の方とお話する。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

通話時間が表示されます。



相手の方に待っていただくには(保留)

同じパーク保留ボタンを設定した電話機で 取れるように保留する(パーク保留)

お話し中に「パーク保留ボタン」を押すと、パーク保留となります。
同じパーク保留ボタンを設定した電話機であれば、保留中の内線/外線に応答することができます。

<例>外の相手の方とお話し中のとき
お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

お待ちください。



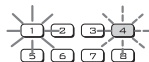
1 パーク保留ボタンを押す。

相手の方には保留メロディーが流れません。
パーク保留ランプが周期的に緑で2回点灯します。
外線ランプが赤で点灯します。

内線



<例>
パーク保留ボタンが(4)、
外線ボタンが(1)
の場合



2 お話しに戻るときは、保留している パーク保留ボタンを押して、相手の 方とお話する。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。

030000XXXX

0-15

PB



<例>

パーク保留ボタンが(4)、
外線ボタンが(1)
の場合



お知らせ

- パーク保留ボタンは、主装置の設定により外線ボタンに設定できます。
- 「システム設定」によって、パーク保留ボタンを外線ボタンに割り付けることができます。

電話を取りつぐには

外の相手の方のお話しや内線通話を他の内線電話機に取りつぐことができます。

電話を取りつぐ(口頭転送)

保留にしている回線ボタンを押すと、他の内線電話機で電話に出ることができます。

呼び出す方

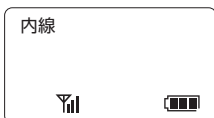
お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

お待ちください。



1 (保留)を押す。

相手の方には保留メロディーが流れます。外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 回線ボタンの番号を、取りつぐ相手の方に口頭で伝える。

〇番にお電話です。



呼び出される方



1 保留中の回線ボタンを押して、相手の方とお話する。

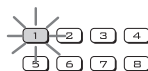
回線ボタンが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

お待たせしました。



<例>

1を押した場合



ワンポイント

- 「呼び出される方」が応答できないときは
 - ・他の内線電話機で、保留にしている回線ボタンを押して応答できます。
 - ・「呼び出す方」が保留にしている回線ボタンを押すと、相手の方のお話しに戻ることができます。
- 同じパーク保留ボタンを設定した電話機で取れるように転送するには(パーク保留)
 - 「呼び出す方」の手順1で、(保留)の代わりにパーク保留ボタンを押します。応答するときは、「呼び出す方」の手順1と同じ番号のパーク保留ボタンを押します。

電話を取りつぐには相手の方に待っていただくには(保留)

電話を取りつぐには

電話を取りつぐ(保留転送)

特定の電話機を呼び出して転送します。

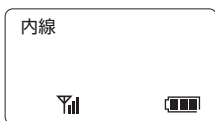
呼び出す方

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。



1 を押す。

相手の方には保留メロディーが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

呼出音が聞こえます。



3 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、 を押す。

呼び出される方

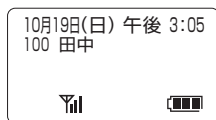


呼び出されると着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが赤で点滅します。



1 を押す。

内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 呼び出した方が を押すと電話がつながり、相手の方とお話することができる。



ワンポイント

- 呼び出された方の応答を待たずに転送するには(呼出状態転送)

「呼び出す方」の手順2で内線番号をダイヤルボタンで押したあと、呼び出された方が応答する前に、決定ボタンまたは(☎)を押します。ただし、転送先の内線電話機が、内線でお話し中などで呼び出しできないときは転送されません。保留のままとなりますのでご注意ください。

- 相手の方とのお話しに戻るには

呼び出された方が応答しなかったときは、保留にしている回線ボタンを押すと相手の方とのお話しに戻ることができます。



お知らせ

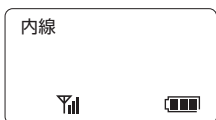
- 「呼び出す方」の手順2のあと、「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。

内線でお話するには

他の内線電話機を、内線番号で呼び出してお話しします。

呼び出す方

- 1 **内線** を押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



- 2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

呼出音が聞こえます。



- 3 呼び出された方が応答したら、お話しする。



- 4 お話が終わったら、**電源** を押す。

呼び出される方



呼び出されると着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが赤で点滅します。



- 1 **フック** を押し、相手の方とお話する。

内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



ドアホンとお話するには

ドアホンからの呼び出しに応答する

1 ドアホンの着信音が鳴ったとき、
内線を押す。

着信ランプと内線ランプが赤で点滅します。



2 相手の方とお話してください。



3 お話が終わったら、電源を押す。

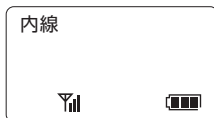
お知らせ

- チャイム音が鳴るように設定した電話機がお話中のときは、チャイム音が鳴りません。
- チャイム音が鳴る電話機は、接続している主装置で設定します。

ドアホンの周囲の音を聞く

1 内線を押す。

「ツーツー…」という音を確認してください
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 呼び出すドアホンのドアホン番号をダイヤルボタンで押します。

液晶ディスプレイにドアホン番号が表示されます。



3 ドアホンの周囲の音が聞こえます。

ドアホン側の方とお話することもできます。



4 お話が終わったら、電源を押す。



お知らせ

- ドアホン番号は、主装置の取扱説明書を参照してください。

文字を入力するには(電話帳)

電話帳関連の文字入力時には、「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」を入力することができます。機能ボタンを押して入力モードを選択し、ダイヤルボタンで希望する文字を表示させて入力します。

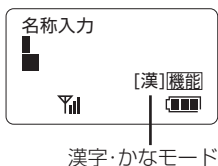
漢字・かなモード

漢字およびひらがなを入力することができます。

<例>個別電話帳の名称入力画面に「佐藤」と入力する場合

1 機能ボタンを押して入力モードを選択する。

[漢] を選択します。最初は漢字・かなモードになっています。機能ボタンを押すごとに、「漢」→「か」→「AB」→「12」の順に切り替わります。



2 3(DEF)を1回、4(たGHI)を5回、1(あ)を3回押す。

漢字に変換しない場合は決定ボタンを押します。



3 上下ボタンで文字を変換する。

目的の候補が表示されなかったときは、繰り返し上下ボタンを押します。また、「さとう」の「さ」だけの変換候補を表示させたい場合は、左ボタンを押して変換範囲を「さ」のみにして、再度上下ボタンを押します。



4 入力したい文字が表示されたら決定ボタンを押す。

確定した文字が上段に移動します。



ワンポイント

●濁点・半濁点・小文字を入力するには(←P54)

カナモード／英字モード

半角のカタカナ、英字および記号を入力することができます。

<例>個別電話帳の名称入力画面に「NTT」と入力する場合

1 **機能**を押して入力モードを選択する。

[AB]を選択します。



英字モード

2 **は** (MND) を2回、**や** (TUV) を1回、右ボタンを1回、**や** (TUV) を1回、右ボタンを1回押す。



数字モード

半角の数字を入力することができます。

<例>個別電話帳の名称入力画面に「123」と入力する場合

1 **機能**を押して入力モードを選択する。

[12]を選択します。



数字モード

2 **1** あ **2** か ABC **3** さ DEF の順に押す。



3
より便利に使う

文字を入力するには(電話帳)



お知らせ

●漢字変換では、半角文字の入力はできません。

文字を入力するには(電話帳)



ワンポイント

●文字と機能の割り当て一覧表

漢字／カタカナ／英字／数字の各入力モードでのボタンと機能は下表のとおりです。機能を押すたびに入力モードが切り替わります。文字入力、は、入力する文字が表示されるまでダイヤルボタンを繰り返し押ししてください。

文字の組み合わせによっては表示されない文字があります。

ボタン	漢字・かなモード	カナモード	英字モード	数字モード
1 あ	あいうえお あいうえお	アイエ オイエイ	無効	1
2 かABC	かきくけこ	カキク コケコ	A B C a b c	2
3 さDEF	さしすせそ	サシセ ソセソ	D E F d e f	3
4 たGHI	たちつとっ	タチツ トツ	G H I g h i	4
5 なJKL	なにぬねの	ナニヌ ノ	J K L j k l	5
6 はMNO	はひふへほ	ヒフホ	M N O m n o	6
7 まPQRS	まみむめも	マミメ	P Q R S p q r s	7
8 やTUV	やゆよやゆよ	ヤユヨ	T U V t u v	8
9 りWXYZ	らりるれろ	リルロ	W X Y Z w x y z	9
0 ワん	わをん	ワッ	無効	0
* ロック	濁点、半濁点付与	* °	無効	*
# 設定	ー、。！？@_()*#△／ ※△は全角の空白を示す	-.@_()*#▽ ※▽は半角の空白を示す	-.@_()*#▽ ※▽は半角の空白を示す	#
➡(右ボタン)	カーソルを右に移動 漢字変換の範囲を広げる	カーソルを右に移動		
⬅(左ボタン)	カーソルを左に移動 漢字変換の範囲を狭める	カーソルを左に移動		
⬆(上ボタン)	入力中の文字に対する漢字変換候補を表示	無効		
⬇(下ボタン)	決定ボタン	確定		
クリア	短く押したとき: 1文字消去、漢字変換のキャンセル(漢字・かな入力時) 長く押したとき: すべての文字消去			

●続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するには

右ボタンを押して、カーソルを移動させてください。

●文字を修正するには

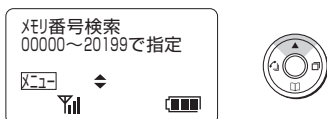
左右ボタンでカーソルを修正したい文字へ移動し、入力/消去してください。

電話帳ダイヤルでかけるには

メモリー番号で検索してかける

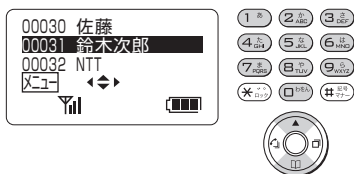
電話帳の中からメモリー番号で目的の電話帳を検索する方法です。

- 1** 待ち受け状態で、上(短縮)ボタンを押す。



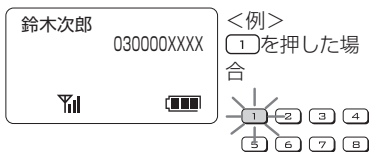
- 2** 目的の電話帳のメモリー番号をダイヤルボタンで押す。上下ボタンで目的の電話帳を選択する。

左右ボタンを押すと、前後の3件を表示することができます。



- 3** 外線ランプが消えていることを確認し、回線ボタンを押す。

選択した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

- 4** 相手の方が出たら、お話しする。



電話帳ダイヤルでかけるには



ワンポイント

- **下(電話帳)ボタンでメモリー番号検索するには**
 下(電話帳)ボタンを押すと、前回検索したときの検索画面が表示されます。他の検索画面が表示された場合は、次のように操作します。
 - ① 下(電話帳)ボタンを押す
 - ② (☺)を押す
 - ③ 上下ボタンで「メモリー番号検索」を選択し、決定ボタンを押す
 - ④ 手順2以降の操作を行う
- **メニューを使ってメモリー番号検索をするには**
 - ① (☺)を押す
 - ② 上下ボタンで「電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
 - ③ 上下ボタンで「個別電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
 - ④ 上下ボタンで「電話帳検索」を選択し、決定ボタンを押す
 - ⑤ 上下ボタンで「メモリー番号検索」を選択し、決定ボタンを押す
 - ⑥ 手順2以降の操作を行う
- **電話をかける前に登録内容を確認するには**
 手順2のあとに決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面表示からでも手順3～4の操作が行えます。1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面から発信すると第1番号で発信されます。
- **電話帳ガイド表示について**
 電話帳を利用するとき、画面にガイドを表示するかどうかを設定できます。詳しくは、主装置の取扱説明書を参照してください。本書では、電話帳ガイド表示ありの画面で説明しています。



お知らせ

- 回線ボタンの代わりに(内線)を押すと、自動的に外線発信番号とポーズが入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができるようにすることもできます。詳しくは、主装置の取扱説明書を参照してください。

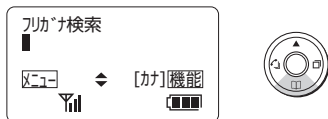
フリガナで検索してかける

電話帳の中からフリガナで目的の電話帳を検索する方法です。

1 待ち受け状態で、下(電話帳)ボタンを押す。

下(電話帳)ボタンを押すと、前回検索したときの検索画面が表示されます。お買い求め時は「フリガナ検索」が表示されます。

フリガナ検索の画面が表示された場合は、手順4へ進んでください。



2 上下ボタンを押す。

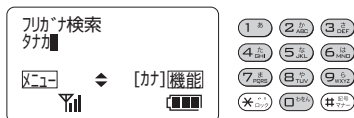


3 上下ボタンで「フリガナ検索」を選択し、決定ボタンを押す。

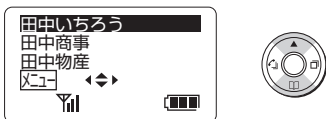


4 フリガナ (1 ~ 12文字) を入力する。

「文字と機能の割り当て一覧表」を参照してください。(P54)



5 上下ボタンを押す。



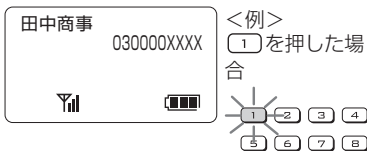
6 上下ボタンでかけたい電話帳を選択する。

左右ボタンを押すと、前後の3件を表示することができます。



7 外線ランプが消えていることを確認し、回線ボタンを押す。

選択した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

8 相手の方が出たら、お話しする。




3より便利に使う

電話帳ダイヤルでかけるには




ワンポイント

- 文字を入力するには(➡P52)
- メニューを使ってフリガナ検索をするには
 - ① を押す
 - ② 上下ボタンで「電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
 - ③ 上下ボタンで「個別電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
 - ④ 上下ボタンで「電話帳検索」を選択し、決定ボタンを押す
 - ⑤ 上下ボタンで「フリガナ検索」を選択し、決定ボタンを押す
 - ⑥ 手順4以降の操作を行う
- 電話をかける前に登録内容を確認するには
手順6のあとに決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面表示からでも手順7～8の操作が行えます。
1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面から発信すると第1番号で発信されます。
- 電話帳ガイド表示について
電話帳を利用するとき、画面にガイドを表示するかどうかを設定できます。詳しくは、主装置の取扱説明書を参照してください。
本書では、電話帳ガイド表示ありの画面で説明しています。



お知らせ

- 回線ボタンの代わりに  を押すと、自動的に外線発信番号とポーズが入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができるようにすることもできます。詳しくは、主装置の取扱説明書を参照してください。

行で検索してかける

名前の先頭文字の行から、目的の電話帳を検索します。

1 待ち受け状態で、下(電話帳)ボタンを押す。

下(電話帳)ボタンを押すと、前回検索したときの検索画面が表示されます。お買い求め時は「フリガナ検索」が表示されます。

行検索の画面が表示された場合は、手順4へ進んでください。

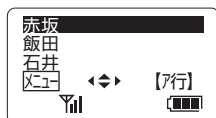


2 上下ボタンを押す。

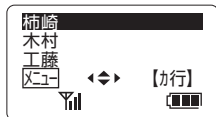


3 上下ボタンで「行検索」を選択し、決定ボタンを押す。

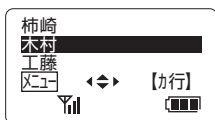
グループ内の電話帳が五十音順に表示されます。



4 左右ボタンで行を切り替える。



5 上下ボタンでかけたい電話帳を選択する。



6 外線ランプが消えていることを確認し、回線ボタンを押す。

選択した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



7 相手の方が出たら、お話しする。





ワンポイント

●メニューを使って行検索をするには

- ① を押す
- ② 上下ボタンで「電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
- ③ 上下ボタンで「個別電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
- ④ 上下ボタンで「電話帳検索」を選択し、決定ボタンを押す
- ⑤ 上下ボタンで「行検索」を選択し、決定ボタンを押す
- ⑥ 手順4以降の操作を行う

●電話をかける前に登録内容を確認するには

手順5のあとに決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面からでも手順6～7の操作が行えます。

1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面から発信すると第1番号で発信されます。

●電話帳ガイド表示について

電話帳を利用するとき、画面にガイドを表示するかどうかを設定できます。詳しくは、主装置の取扱説明書を参照してください。

本書では、電話帳ガイド表示ありの画面で説明しています。



お知らせ

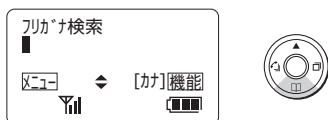
- 回線ボタンの代わりに を押すと、自動的に外線発信番号とポーズが入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができるようにすることもできます。詳しくは、主装置の取扱説明書を参照してください。

電話帳グループの電話番号を検索してかける

共用電話帳と個別電話帳の中からグループ番号で目的の電話帳を検索する方法です。

1 待ち受け状態で、下(電話帳)ボタンを押す。



下(電話帳)ボタンを押すと、前回検索したときの検索画面が表示されます。お買い求め時は「フリガナ検索」が表示されます。グループ検索の画面が表示された場合は、手順4へ進んでください。

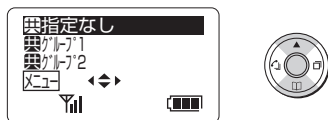


2 **メニュー**を押す。



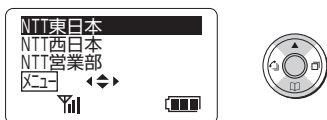
3 上下ボタンで「グループ検索」を選択し、決定ボタンを押す。

共用電話帳は 、個別電話帳は  のアイコンが表示されます。



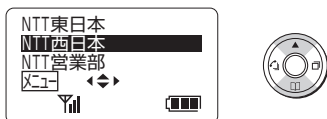
4 上下ボタンで目的のグループを選択し、決定ボタンを押す。

グループ内の電話帳が五十音順に表示されます。



5 上下ボタンで目的の電話帳を選択する。

左右ボタンを押すと、前後の4件を表示することができます。



6 外線ランプが消えていることを確認し、回線ボタンを押す。

選択した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

7 相手の方が出たら、お話しする。

電話帳に登録するには (電話帳ダイヤル)

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておく、電話帳を使って簡単に電話をかけることができます。

共用電話帳の登録はシステムで登録可能に設定されているIPアドレス電話機で行います。

電話帳に登録する

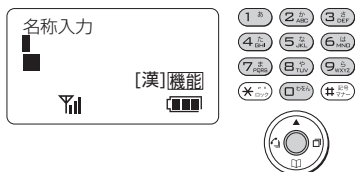
電話帳1件につき、下記の内容を登録できます。

<文字を入力するには> (P52)

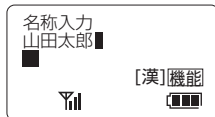
- 名称(全角10文字/半角20文字まで)
- フリガナ(半角12文字まで)
- 電話番号(32桁まで)
- アイコン(9種類のアイコンに分類できる)
- グループ(9種類のグループ、または「指定なし」に分類できる)
- メモリー番号(個別電話帳は最大200件、共用電話帳は1グループ最大2000件)

<例>個別電話帳に登録する場合

- 1** 待ち受け状態で、**X**、**1**、**1**
1、決定ボタンの順に押す。



- 2** 登録する相手の名称を入力する。



- 3** 決定ボタンを押す。
「フリガナ入力」画面が表示されます。
フリガナは名称入力時に入力された12文字までがそのまま表示されます。



- 4** 入力内容を確認し、決定ボタンを押す。

「編集」画面が表示されます。



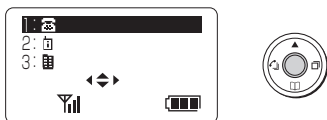
- 5** 上下ボタンで「未登録」を選択し、決定ボタンを押す。



- 6** 登録する相手の電話番号を入力する。
ダイヤル(0~9、*、#)およびポーズを登録できます。



- 7** 決定ボタンを押す。



- 8** 上下ボタンで登録したいアイコンを選択し、決定ボタンを押す。



(次ページにつづく)

電話帳に登録するには (電話帳ダイヤル)

9 上下ボタンで「GR 指定なし」を選択し、決定ボタンを押す。

左右ボタンで画面を切り替えることもできます。



10 上下ボタンで登録したいグループを選択し、決定ボタンを押す。



11 (保留) を押す。



12 決定ボタンを押す。

空いているメモリー番号に登録されます。表示されているメモリー番号に登録しない場合は、登録したいメモリー番号をダイヤルボタンで押してから、決定ボタンを押します。



ワンポイント

- 文字を入力するには(➡P52)
- 電話帳を編集するには(➡P65)
- 電話帳グループの名前をつけるには(➡P67)
- 複数の電話番号を登録するには
電話帳1件につき、最大2つの電話番号を登録することができます。
①手順4で、上下ボタンで「(未登録)」を選択し、決定ボタンを押す
②手順6～8の手順を行う
- 登録されている電話帳を確認するには
①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する(➡P55)
②上下ボタンで確認したい電話帳を選択し、決定ボタンを押す
③電話帳の詳細画面で内容を確認する



お知らせ

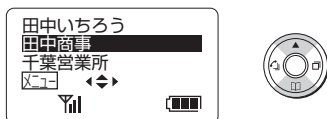
- フリガナには、半角の「カタカナ」、「英字」、「数字」、「記号」が入力できます。

電話帳を編集するには

個別電話帳を編集することができます。

1 電話帳を検索して電話帳の一覧を表示する。(☛P57)

2 上下ボタンで編集したい電話帳を選択する。



3 **(X)**を押す。



4 上下ボタンで「編集」を選択し、決定ボタンを押す。

電話帳の詳細が表示されます。



5 「電話帳に登録する」(☛P63)と同様の操作で、電話帳を編集する。



ワンポイント

- 文字を修正するには(☛P54)



お知らせ

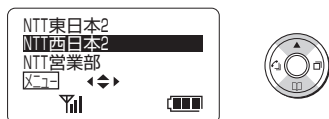
- 共用電話帳の修正は、システムで登録可能に設定されているIPコードレス電話機でのみ行うことができます。共用電話帳を修正するときは、手順1で修正する共用電話帳を検索してください。

電話帳を削除するには

個別電話帳を削除することができます。

1 電話帳を検索して電話帳の一覧を表示する。(☛P61)

2 上下ボタンで削除したい電話帳を選択する。



3 (X)を押す。



4 上下ボタンで「削除」を選択し、決定ボタンを押す。

確認画面が表示されます。



5 上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す。

選択した電話帳が削除され、電話帳の検索画面に戻ります。



ワンポイント

- 削除を中止するときは
手順5で、上下ボタンで「いいえ」を選択し、決定ボタンを押してください。

お知らせ

- 共用電話帳の削除は、システムで登録可能に設定されているIPコードレス電話機でのみ行うことができます。共用電話帳を削除するときは、手順1で削除する共用電話帳を検索してください。

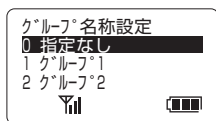
電話帳グループの名前をつけるには (個別電話帳)

個別電話帳の10個ある電話帳グループに「得意先」、「友人」などグループの名前を設定することができます。

1 を押す。

2 の順に押す。

「グループ名称設定」画面が表示されます。



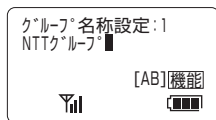
3 上下ボタンでグループを選択し、決定ボタンを押す。



4 グループ名を入力する。

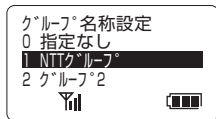
全角10文字、半角20文字まで入力することができます。

<例>「NTTグループ」と入力した場合



5 決定ボタンを押す。

「グループ名称設定」画面に戻ります。



6 を押す。

グループ名が保存され、待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

●文字を入力するには(●P52)

発信履歴や着信履歴の電話番号を登録するには

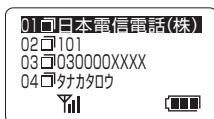
発信履歴や着信履歴の電話番号を個別電話帳、共用電話帳に登録することができます。

1 右(発信履歴)ボタンまたは左(着信履歴)ボタンを押す。

新しい順に発信履歴または着信履歴が4件表示されます。目的の履歴が表示されているときは、手順3に進みます。



<例>右(発信履歴)ボタンを押して発信履歴を表示した場合



2 上下左右ボタンで登録する履歴を選択する。

左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。

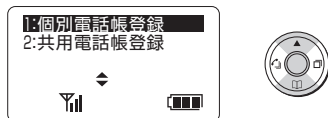


3 を押す。



4 上下ボタンで「電話帳登録」を選択し、決定ボタンを押す。

電話帳選択画面が表示されます。



5 上下ボタンで「共用電話帳登録」または「個別電話帳登録」を選択し、決定ボタンを押す。

編集画面が表示されます。



6 「電話帳に登録する」(P63)と同様の操作で、電話帳に登録する。

ワンポイント

- 文字を入力するには(P52)

お知らせ

- 共用電話帳の登録は、システムで登録可能に設定されているIPコードレス電話機でのみ行うことができます。共用電話帳に登録するときは、手順4で「共用電話帳登録」を選択してください。

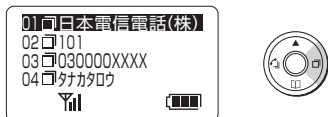
前に電話をかけた相手に再びかけるには (発信履歴)

こちらからかけた電話番号は、発信履歴として保存され、発信履歴から相手先を選択して電話をかけることができます。

電話番号は1件につき32桁まで記録できます。

1 待ち受け状態で、右(発信履歴)ボタンを押す。

新しい順に発信履歴が4件表示されます。



2 上下左右ボタンでかけたい相手を選択する。

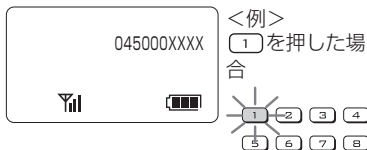
左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。



3 外線ランプが消えていることを確認し、回線ボタンを押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

4 相手の方が出たら、お話しする。



前に電話をかけた相手に再びかけるには(発信履歴)
発信履歴や着信履歴の電話番号を登録するには

ワンポイント

- **発信履歴に表示される名前について**
発信履歴の名前は個別電話帳、共用電話帳から検索され表示します。登録のない電話番号は、名前が表示されません。
- **発信履歴の詳細を確認するには**
手順2のあとに決定ボタンを押すと、発信履歴の詳細画面が表示されます。この画面が表示されている状態で手順3に進んでも、電話をかけることができます。
- **発信履歴を電話帳に登録するには(▶P68)**
- **発信履歴のあとに続けてダイヤルするには(追加ダイヤル)**
発信履歴を表示中にダイヤルボタンを押すと、発信履歴に登録されている電話番号に押したダイヤルを追加して表示します。
- **発信履歴が内線の場合には**
手順3で、(内線)を押してください。

お知らせ

- 発信履歴は主装置に記録されています。

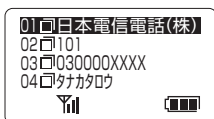
発信履歴を削除するには

発信履歴を1件または全件削除することができます。

発信履歴を選択して削除する

1 待ち受け状態で、右(発信履歴)ボタンを押す。

新しい順に発信履歴が4件表示されます。

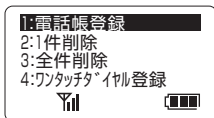


2 上下左右ボタンで削除する発信履歴を選択する。

左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。



3 を押す。



4 上下ボタンで「1件削除」を選択し、決定ボタンを押す。

「削除確認」画面が表示されます。



5 上下ボタンで「削除する」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



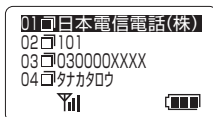
ワンポイント

- 削除を中止するときは
手順5で上下ボタンで「削除しない」を選択し、決定ボタンを押す、あるいはクリアボタンを押してください。

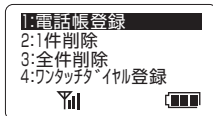
すべての発信履歴を削除する

1 待ち受け状態で、右(発信履歴)ボタンを押す。

新しい順に発信履歴が4件表示されます。



2 (X) を押す。

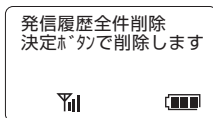


3 上下ボタンで「全件削除」を選択し、決定ボタンを押す。

「全件削除確認」画面が表示されます。



4 上下ボタンで「削除する」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



5 決定ボタンを押す。



ワンポイント

● 削除を中止するときは

手順4で上下ボタンで「削除しない」を選択し、決定ボタンを押す、あるいはクリアボタンを押してください。

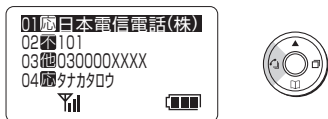
電話をかけてきた相手にこちらから かけるには (着信履歴)

発信者番号が通知されている着信の電話番号は、着信履歴として保存され、着信履歴から相手先を選択して電話をかけることができます。

電話番号は1件につき32桁まで記録できます。

1 待ち受け状態で、左(着信履歴)ボタンを押す。

新しい順に着信履歴が4件表示されます。



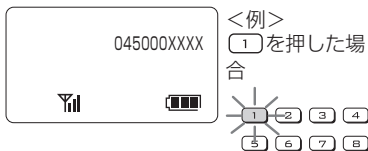
2 上下左右ボタンでかけたい相手先を選択する。



3 外線ランプが消えていることを確認し、回線ボタンを押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。





外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

4 相手の方が出たら、お話しする。

ワンポイント

- **着信履歴に表示される名前について**
着信履歴の名前は、着信時に表示した名前が表示されます。
- **着信履歴の詳細を確認するには**
手順2のあとに決定ボタンを押すと、着信履歴の詳細画面が表示されます。この画面が表示されている状態で手順3に進んでも、電話をかけることができます。
- **着信履歴を電話帳に登録するには(☛P68)**
- **着信履歴のアイコン表示について**
 : 応答した場合
 : 他の外線電話機が応答した場合
 : 着信応答しなかった場合
- **着信履歴が内線の場合には**
手順3で、 を押してください。

お知らせ

- 着信履歴は主装置に記録されています。
- 着信履歴は最大件数を越えた場合は、古い記録から自動的に消去されます。
- 着信履歴表示中の着信は記録されません。

着信履歴を削除するには

着信履歴を1件または全件削除することができます。

着信履歴を選択して削除する

1 待ち受け状態で、左(着信履歴)ボタンを押す。

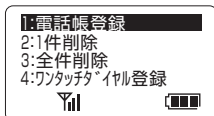
新しい順に着信履歴が4件表示されます。



2 上下左右ボタンで削除する着信履歴を選択する。



3 (X)ボタンを押す。



4 上下ボタンで「1件削除」を選択し、決定ボタンを押す。

「削除確認」画面が表示されます。



5 上下ボタンで「削除する」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



ワンポイント

●着信履歴のアイコン表示について

- : 応答した場合
- : 他の内線電話機が応答した場合
- : 着信応答しなかった場合

●削除を中止するときは

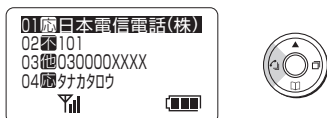
手順5で上下ボタンで「削除しない」を選択し、決定ボタンを押す、あるいはクリアボタンを押してください。

着信履歴を削除するには

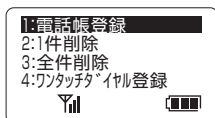
すべての着信履歴を削除する

1 待ち受け状態で、左(着信履歴)ボタンを押す。

新しい順に着信履歴が4件表示されます。



2 を押す。

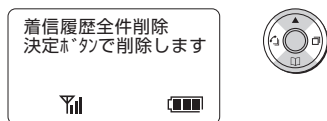


3 上下ボタンで「全件削除」を選択し、決定ボタンを押す。

「全件削除確認」画面が表示されます。



4 上下ボタンで「削除する」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



5 決定ボタンを押す。



ワンポイント

●着信履歴のアイコン表示について

 : 応答した場合

 : 他の内線電話機が応答した場合

 : 着信応答しなかった場合

●削除を中止するときは

手順4で上下ボタンで「削除しない」を選択し、決定ボタンを押す、あるいはクリアボタンを押してください。

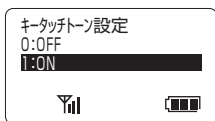
キータッチトーンの設定をするには

ダイヤルボタン(☎^{おせん})~(9^らWXYZ)、(*^ワロック)、(#^{お号}マナー)を押したときに音を鳴らすかどうかを設定できます。お買い求め時は、「ON」に設定されています。

1 ☎を2秒以上押す。

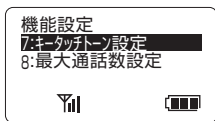
2 1 あ 7^ま の順に押す。

「キータッチトーン設定」画面が表示されます。



3 上下ボタンで「ON」または「OFF」を選択し、決定ボタンを押す。

キータッチトーンが設定されます。



4 電源を押す。

待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

- キータッチトーンの設定は、電源を切っても保持されます。

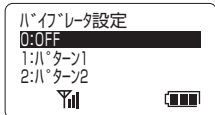
着信を振動で知らせるには (バイブレーション)

バイブレーションを設定すると、着信音量に関係なく着信を振動でお知らせします。

バイブレーションを設定する

1 を2秒以上押す。

2 の順に押す。



3 上下ボタンでパターンを選択し、決定ボタンを押す。

バイブレーターが設定されます。



4 を押す。

待ち受け状態に戻ります。

バイブレーションを解除する

1 を2秒以上押す。

2 の順に押す。



3 上下ボタンで「OFF」を選択し、決定ボタンを押す。

バイブレーターの設定が解除されます。



4 を押す。

待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- マナーモードが設定されている場合はマナーモードのバイブレーションの設定に従います。(P77)



お知らせ

- バイブレーションの設定は、電源を切っても保持されず。

マナーモードを設定するには

マナーモードを設定する

1 待ち受け状態で、**(# 設定
マナー)** を2秒以上
押す。

「M」が表示され、マナーモードに設定さ
れます。



マナーモードを解除する

1 マナーモード状態で、**(# 設定
マナー)** を2秒
以上押す。

「M」の表示が消え、マナーモードが解除
されます。



お知らせ

- 「M」は待ち受け画面のとき、または着信中に相手の方の電話番号や名前が通知されない場合に表示されます。

誤操作を防止するには (端末ロック)

本商品を持ち歩くときなどに間違えてボタンを押してしまわないようにするには、
端末ロックを設定すると便利です。

端末ロックを設定する

- 1** 待ち受け状態で、**(✖ ロック)**を2秒以上押す。

「端末ロック」画面が表示されます。



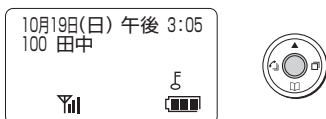
- 2** ロックナンバー 4桁を入力する。

お買い求め時のロックナンバーは、「0000」に設定されています。



- 3** 決定ボタンを押す。

☑が表示され、端末ロックが設定されます。



端末ロックを解除する

- 1** 端末ロック状態で、**(✖ ロック)**を2秒以上押す。

「端末ロック解除」画面が表示されます。



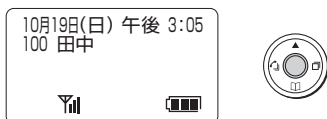
- 2** ロックナンバー 4桁を入力する。

お買い求め時のロックナンバーは、「0000」に設定されています。



- 3** 決定ボタンを押す。

☑の表示が消え、端末ロックが解除されます。



ワンポイント

- 電話がかかってきたときは
着信した回線ボタンまたは**(内線)**を押してください。端末ロックが解除され、通話することができます。
- ロックナンバーを設定していない場合は
(✖ ロック)を2秒以上押すだけで、端末ロックを設定/解除できます。手順2以降の操作は必要ありません。



お知らせ

- ロックナンバーを間違えた場合は**(クリア)**を押し、再度入力し直してください。
- ロック操作を途中で止めたい場合は、**(電源)**を押してください。
- 端末ロック中は、外線および内線の発信操作は一切できません。端末ロックを解除してから発信操作をしてください。

誤操作を防止するには (端末ロック)

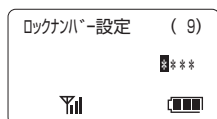
ロックナンバーを変更する

お買い求め時のロックナンバーは、「0000」に設定されています。

1 **[長押し]** を2秒以上押す。

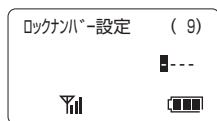
2 **[1 あ]** **[6 MEND]** を押す。

「ロックナンバー」画面が表示されます。



3 **[クリア]** を押す。

ロックナンバーが消去されます。



4 ロックナンバー 4桁を入力する。



5 決定ボタンを押す。

ロックナンバーが設定されます。



6 **[電源]** を押す。

待ち受け状態に戻ります。



ワンポイント

- ロックナンバー未入力の設定をすると
手順3のときに決定ボタンを押すと、ロックナンバーの入力なしで端末ロック機能を使用できません。



お知らせ

- 設定したロックナンバーは、端末ロックの設定や解除をするときに必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、設定したロックナンバーを忘れてしまったときは、設定ソフトウェアで確認することができます。または、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 入力した番号は「*」で表示されます。
- 設定したロックナンバーは、電源を切っても保持されません。

クイックモードを設定するには

クイックモードを設定すると、電話をかけるとき、受けるときの操作が次のようになります。

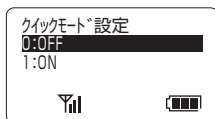
- 待ち受け中にIPコードレス電話機を充電台から取りあげるだけで内線、または外線を捕捉することができます。
- IPコードレス電話機を充電台に置くだけで通話を終了することができます。

クイックモードを設定する

1 を2秒以上押す。

2 を押す。

「クイックモード設定」画面が表示されます。



3 上下ボタンで「ON」を選択し、決定ボタンを押す。

クイックモードが設定されます。



4 を押す。

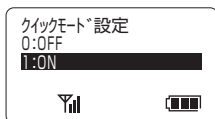
待ち受け状態に戻ります。

クイックモードを解除する

1 を2秒以上押す。

2 を押す。

「クイックモード設定」画面が表示されます。



3 上下ボタンで「OFF」を選択し、決定ボタンを押す。

クイックモードの設定が解除されます。



4 を押す。

待ち受け状態に戻ります。



お知らせ

- 端末ロックを設定している場合は、クイックモードの設定は無効です。
- クイックモードを設定していない場合は、IPコードレス電話機を充電台に置いても通話は終了しません。 を押して終了してください。

設定ソフトウェアでデータ設定を行うには

設定ソフトウェアは、次のような設定操作を簡単に行うことができます。

- ① IP コードレス電話機の各種設定ができる
- ② IP コードレス電話機の着信メロディーを変更できる

設定ソフトウェアは、以下の動作環境でご利用ください。

お客様にご用意いただくもの

• パソコン

10BASE-Tまたは100BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tに対応したLANポートを備えていることをご確認ください。



• LANケーブル

LAN配置用カテゴリ5eのLANケーブルをご用意ください。



動作環境について

設定ソフトウェア

項目	条件
OS	Windows 8.1 (Windows 8.1、Pro、Enterprise)(32bit/64bit) Windows 7 (Home Premium (SP1)、Professional (SP1)、Ultimate (SP1))(32bit/64bit)
解像度	XGA以上
CPU	OSの動作条件に準拠
メモリー	OSの動作条件に準拠
HDD	空き容量20MB以上
FTPサーバー	同一サブネットのIPアドレスであること。

接続構成

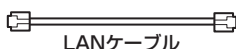
IPコードレス電話機



無線アクセスポイント



パソコン



LANケーブル

機能一覧

機能		概要	FTPサーバー	参照ページ	
各種設定	機器検索	ネットワークに接続している無線アクセスポイント、IPコードレス電話機を検索し、IPアドレス、MACアドレス、名称、SSID、電波状況、バージョンを一覧表示する。	不要	☛P86	
	設定画面起動	無線設定	選択したIPコードレス電話機の無線設定をする。 また、無線アクセスポイントの設定ファイルから接続情報をコンバートできる。	要	☛P87
		機能設定	選択したIPコードレス電話機の機能設定と着信メロディーのダウンロードを行う。	要	☛P90
		設定データ保存・反映	選択したIPコードレス電話機のローカル設定で設定可能な項目の保存と反映を行う。 保存した情報は、別IPコードレス電話機への反映が可能である。	要	☛P95
		ログ情報取得	選択したIPコードレス電話機のデバッグログ情報を取得できる。	要	☛P97
保守	ファームウェア更新	選択したIPコードレス電話機のファームウェアを更新する。	要	☛P98	



お知らせ

- IPコードレス電話機を設定するには、無線アクセスポイントと接続する必要があります。(☛P28)
- 設定ソフトウェアを同一パソコンで複数起動したり、同一ネットワーク上の複数のパソコンで同時に起動している場合は、動作保証できない場合があります。
- 設定ソフトウェアをインストールしたパソコンにファイアウォール機能やウイルスチェックソフトがある場合、正常に動作しない場合があります。
- 設定ソフトウェアの表示欄のカラム幅は変更できますが、記憶されません。
- IPコードレス電話機を設定する場合は、FTPサーバーが必要です。

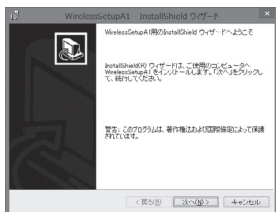
インストール方法

設定ソフトウェアをパソコンにインストールします。

1 当社ホームページから
「WirelessSetup for α A1」を
ダウンロードする。

2 ダウンロードしたファイル
を解凍し、格納されている
「WirelessSetupA1.msi」をダブル
クリックする。

設定ソフトウェアのセットアップウイ
ザード画面が表示されます。

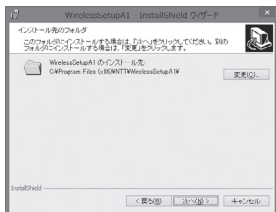


3 [次へ]をクリックする。
使用許諾契約が表示されます。

4 [使用許諾契約]を最後まで読み、内
容に同意する場合は「使用許諾の条
項に同意します」を選択し、[次へ]
をクリックする。

設定ソフトウェアのインストール先が
表示されます。
「使用許諾の条項に同意しません」を選
択するとインストールできません。

5 [次へ]をクリックする。
インストール先を変更する場合は [変
更]をクリックし、表示された画面でイン
ストール先を指定してください。



6 [インストール]をクリックする。
インストールを開始します。

7 [完了]をクリックする。



ワンポイント

●設定ソフトウェアのアンインストールは、次の手順で
行ってください。

< Windows 8.1 の場合 >

- ① デスクトップの画面右下角にマウスカーソルを移動
する。
チャームが表示されます。
- ② [設定] → [コントロールパネル] → [プログラム] →
[プログラムと機能]の順にクリックする。
- ③ 一覧から [WirelessSetupA1] を選択し、[アンイン
ストール] をクリックする。
手順①でデスクトップが表示されていないときは、
[デスクトップ] タイルをクリックしてから行ってくだ
さい。

●[戻る]をクリックすることで、前の画面に戻ることが
できます。

●[キャンセル]をクリックすることで、インストールを中
止することができます。




お知らせ

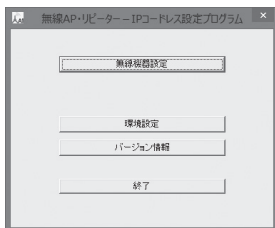
- FTPサーバーを利用して、「無線設定を設定する」
(●P87)、「機能設定を設定する」(●P90)、「設定データ
の保存・反映を行う」(●P95)、「ログ情報を取得する」
(●P97)、「ファームウェアの更新を行う」(●P98)の操作
を行う場合は、「設定ソフトウェアの環境設定を行う」
(●P100)で、FTPサーバーの設定を行う必要がありま
す。
- VLANを設定しているパソコンをご使用の場合は、
VLANの設定をはずして使用してください。

設定画面を起動する

IPコードレス電話機設定メニューを表示します。

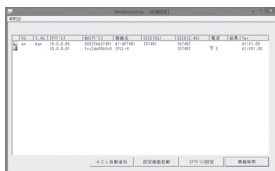
- 1** スタートメニューの画面左下にある  をクリックし、アプリケーションの一覧から [WirelessSetupA1] をクリックする。

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。






- 2** [無線機器設定] をクリックする。

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

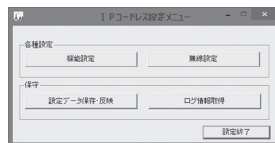


- 3** 各項目は、見出しをクリックすることにより、並び順を替えることができる。

- ・アイコンによる種別表示（無線アクセスポイント（アクセスポイントモード）、無線アクセスポイント（リピーターモード）、IPコードレス電話機
- ・無線モード表示 5G/2.4
a: IEEE802.11a が有効
b: IEEE802.11b が有効
g: IEEE802.11g が有効
n: IEEE802.11n が有効
- ・IPアドレスの表示
- ・機器名の表示
- ・SSID (5G)の表示
- ・SSID (2.4G)の表示
- ・無線アクセスポイント（リピーターモード）、IPコードレス電話機の電波強度の表示 (圏外 0~1~2~3)
- ・ACL自動追加実行時の結果表示
- ・装置のバージョン表示

- 4** 一覧表示から、設定するIPコードレス電話機を1つ選択して、[設定画面起動] をクリックする。

IPコードレス設定メニューが表示されます。



ワンポイント

- 一覧に表示されたIPコードレス電話機をダブルクリックして、IPコードレス設定メニューを表示させることができます。
- [機器検索] をクリックすると、最新の状態を確認できます。

お知らせ

- 設定ソフトウェアがインストールされているパソコンのサブネットマスクは、IPコードレス電話機と同じ設定にしてください。
- 一覧表示をする場合、ネットワークや無線の状態によっては検索できない場合があります。その場合は、接続を確認するか、再度 [機器検索] をクリックしてください。
- IPコードレス電話機を設定するにはFTPサーバーが必要です。
- FTPサーバーの設定は各パソコン、FTPサーバーアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

無線設定を設定する

無線接続に関する設定を行います。

- 1 設定ソフトウェアのメインメニューを表示する。(▶P86)
設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。
- 2 [無線機器設定]をクリックする。
設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。
- 3 一覧表示から、設定するIPコードレス電話機を1つ選択して、[設定画面起動]をクリックする。
IPコードレス設定メニューが表示されます。
- 4 IPコードレス設定メニューの[無線設定]をクリックする。
無線設定画面が表示されます。



5 無線設定を設定する。

●接続情報設定

設定項目	設定内容	入力条件
SSID種別	SSID種別を選択する	最大20件
SSID	SSIDを入力する	半角英数、記号(スペース不可) 最大32文字
暗号化タイプ	暗号化タイプを選択する	無し WEP64bit (16進数10桁) WEP128bit (16進数26桁) WPA-PSK WPA2-PSK
暗号キー	暗号キーを入力する	0～9、a～f
暗号方式	暗号方式を選択する	TKIP AES
Pre Sharedキー	Pre Sharedキーを入力する	半角英数、記号(スペース不可) 8～63文字
DHCP	DHCPのON/OFFを選択する	ON/OFF
IPアドレス	IPアドレスを入力する	0.0.0.0～255.255.255.255
サブネットマスク	サブネットマスクを入力する	0.0.0.1～255.255.255.254
デフォルトGW	デフォルトGWIPアドレスを入力する	0.0.0.0～255.255.255.255
プライマリDNSサーバー	プライマリーDNSサーバーIPアドレスを入力する	0.0.0.0～255.255.255.255
セカンダリDNSサーバー	セカンダリーDNSサーバーIPアドレスを入力する	0.0.0.0～255.255.255.255

(次ページにつづく)

無線設定を設定する

●スキャンチャンネル設定

設定項目	設定内容	入力条件
スキャンチャンネル	スキャンするチャンネルを選択する	1ch ~ 13ch

●無線AP情報コンバート

設定項目	設定内容	入力条件
連携AP選択	無線アクセスポイントの設定データを選択して、SSID、暗号化タイプ、暗号キー、暗号方式、Pre Sharedキーを取得して無線関連のデータを設定する(●P89)	-
SSID	選択した無線アクセスポイントのSSIDを表示する	参照のみ
暗号化タイプ	選択した無線アクセスポイントの暗号化タイプを表示する	参照のみ

●情報取得設定

設定項目	設定内容	入力条件
情報取得アドレス	情報通信用アドレスを設定する	223.255.255.255 ~ 240.0.0.0
情報取得ポート	情報通信用ポート番号を設定する	1 ~ 65535

●IPコードレスMACアドレス

設定項目	設定内容	入力条件
IPコードレスMACアドレス	IPコードレス電話機のMACアドレスを表示する	参照のみ

6 接続情報設定を登録するときは、[登録]をクリックする。

接続情報設定を削除するときは、SSID種別を選択して、[削除]をクリックしてください。

7 [更新]をクリックする。

IPコードレス電話機に登録・編集した無線設定が送信されます。



ワンポイント

- IPコードレス電話機で表示できるASCII文字について
 - ・表示できるASCII文字は、英字(大文字/小文字)、数字、記号[-,@_]*#(半角スペース)です。
 - ・それ以外のASCII文字を入力した場合には、半角スペースで表示します。
- [キャンセル]をクリックすると設定の更新を行わず、IPコードレス設定メニューに戻ります。

アクセスポイント設定連携

無線設定の設定時に、無線アクセスポイントの設定データから無線関連の情報を取得して、IPコードレス電話機の設定に反映させます。

- 1** 設定ソフトウェアのメインメニューを表示する。(←P86)
設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。
- 2** [無線機器設定]をクリックする。
設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。
- 3** 一覧表示から、設定するIPコードレス電話機を1つ選択して、[設定画面起動]をクリックする。
IPコードレス設定メニューが表示されます。
- 4** IPコードレス設定メニューの[無線設定]をクリックする。
無線設定画面が表示されます。
- 5** 連携AP選択の[ファイル参照]をクリックする。
ファイル選択ダイアログが表示されます。
- 6** 無線アクセスポイントの設定データを設定する。
[連携AP選択]にファイル名、SSID、暗号化タイプが表示され、SSID、暗号化タイプ、暗号キー、暗号方式、Pre Sharedキーを取得します。
- 7** [接続情報設定へコンバート]をクリックする。
- 8** 無線設定画面で[更新]をクリックする。
IPコードレス電話機にコンバートされたデータが送信されます。

4 設定ソフトウェアで
データ設定を行う

無線設定を設定する



お知らせ

- 設定データの保存方法は、無線アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

機能設定を設定する

マナーモード、ロックナンバーなどのIPコードレス電話機の機能を設定します。

1 設定ソフトウェアのメインメニューを表示する。(●P86)

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 [無線機器設定]をクリックする。

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

3 一覧表示から、設定するIPコードレス電話機を1つ選択して、[設定画面起動]をクリックする。

IPコードレス設定メニューが表示されます。

4 IPコードレス設定メニューの[機能設定]をクリックする。

機能設定画面が表示されます。



5 機能設定を設定する。

●着信設定

設定項目	設定内容	入力条件
着信音量設定	着信時の音量を小(1)、中(2)、大(3)から選択する	1 2 3
バイブレーター設定	着信時のバイブレターの動作を選択する	OFF パターン1 パターン2 パターン3
マナーモード設定	マナーモード時のバイブレターの動作を選択する	OFF パターン1 パターン2 パターン3

●着信メロディー設定

設定項目	設定内容	入力条件
固定曲	参照のみ	-
ユーザー設定曲	着信メロディー編集で追加した着信メロディーを選択する	-
着信メロディー編集	着信メロディーの編集画面を表示する(●P92)	-

●スピーカー音量設定

設定項目	設定内容	入力条件
スピーカー音量設定	スピーカーの音量を小(1)、中(2)、大(3)から選択する	1 2 3

●受話音量設定

設定項目	設定内容	入力条件
受話音量設定	受話音量を小(1)、中(2)、大(3)から選択する	1 2 3

●コントラスト設定

設定項目	設定内容	入力条件
コントラスト設定	コントラストのレベルを選択する	1～8

●クイックモード設定

設定項目	設定内容	入力条件
クイックモード設定	クイックモードを選択する	ON/OFF

●ロックナンバー設定

設定項目	設定内容	入力条件
ロックナンバー設定	ロックナンバーを入力する	設定なし、0000～9999

●キータッチトーン設定

設定項目	設定内容	入力条件
キータッチトーン設定	キータッチトーンを選択する	ON/OFF

●最大通話数設定

設定項目	設定内容	入力条件
最大通話数設定	最大通話数を選択する	発信/応答不可 ハンドオーバ

6 [更新]をクリックする。

IPコードレス電話機に編集した機能設定が送信されます。



ワンポイント

- [キャンセル]をクリックすると設定の更新を行わず、IPコードレス設定メニューに戻ります。

機能設定を設定する

着信メロディー設定

着信時にIPコードレス電話機で使用する着信メロディーを設定できます。

1 設定ソフトウェアのメインメニューを表示する。(●P86)

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 [無線機器設定]をクリックする。

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

3 一覧表示から、設定するIPコードレス電話機を1つ選択して、[設定画面起動]をクリックする。

IPコードレス設定メニューが表示されます。

4 IPコードレス設定メニューの[機能設定]をクリックする。

機能設定画面が表示されます。

5 [着信メロディー編集]をクリックする。

着信メロディー編集画面が表示されます。



6 <着信メロディーを削除するとき>

削除するファイルを選択して、[ファイル削除]をクリックする。

<着信メロディーを追加するとき>

[ファイル追加]をクリックして、追加するファイルを選択する。

着信メロディーのサンプルは全23曲あります。

着信メロディーのサンプルは以下の場所を参照してください。

- OSが64bitの場合
C:\Program Files\ (x86) \NTT\WirelessSetupA1\Melody_Sample
- OSが32bitの場合
C:\Program Files\NTT\WirelessSetupA1\Melody_Sample

<着信メロディー名称を編集するとき>

編集するファイルを選択して、[ファイル名変更]をクリックする。

7 着信メロディー編集画面で[決定]をクリックする。

機能設定画面が表示されます。

8 [更新]をクリックする。

IPコードレス電話機に編集した機能設定が送信されます。

■着信メロディー一覧

IPコードレス電話機に初期設定されている着信メロディーとサンプル曲は以下の通りです。

固定曲

Greensleeves.mid	グリーンスリーブス
HOME_ON_THE_RANGE.mid	峠の我が家
kanon.mid	カノン
SPRING_SONG.mid	春の歌(メンデルスゾーン)
Jesus_bleibet_meine_Freude.mid	主よ人の喜びよ
Menuett.mid	メヌエット
Grande_Valse_Brillnte.mid	華麗なる大円舞曲
Ungarische_Tanze_Nur_5.mid	ハンガリア舞曲第5番

ユーザー設定曲

Tempo_di_Valse.mid	花のワルツ(チャイコフスキー)
kamomeno-suiheisan.mid	かもめの水兵さん
Moonlight_Serenade.mid	ムーンライトセレナーデ
We_wish_you_a_merry_Xmas.mid	We_wish_you_a_merry_Xmas
Jingle_Bells.mid	ジングルベル
Spring_The_Four_Seasons.mid	四季より-春(ビバルディ)
Nocturn_op.9-2.mid	夜想曲集-変ホ長調
wakareno-kyoku.mid	ホ長調-別れの曲

サンプル曲

春	dokokade-haruga.mid	どこかで春が
	hana.mid	花(滝廉太郎)
	Spring_The_Four_Seasons.mid	四季より-春(ビバルディ)
	Tempo_di_Valse.mid	花のワルツ(チャイコフスキー)
夏	BEAUTIFUL_DREAMER.mid	夢路より(フォスター)
	kamomeno-suiheisan.mid	かもめの水兵さん
	Morgenstimmung.mid	ベールギュントより朝(グリーグ)
	Santa_Lucia.mid	サンタルチア(イタリア)
秋	wareha-uminoko.mid	我は海の子
	Dreaming_of_home_and_mother.mid	旅愁(オードウエイ)
	Moonlight_Serenade.mid	ムーンライトセレナーデ
	muramaturi.mid	村まつり
	mushino-koe.mid	むしのこえ
冬	syozoyozino-tanukibayashi.mid	証城寺の狸ばやし
	Jingle_Bells.mid	ジングルベル
	pechka.mid	ペチカ
	silent_Night.mid	聖夜-きよしこの夜(クルーパー)
	We_wish_you_a_merry_Xmas.mid	We_wish_you_a_merry_Xmas
	Winter_The_Four_Seasons.mid	四季より-冬(ビバルディ)
その他	yuki.mid	ゆき
	Jupiter.mid	木星
	Nocturn_op.9-2.mid	夜想曲集-変ホ長調
	wakareno-kyoku.mid	ホ長調-別れの曲

機能設定を設定する



ワンポイント

- ファイル名は半角英数記号です。
使用できる半角英数記号は「a～z、A～Z、0～9、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ドット）、@、#です。
ファイル名は最大64文字（拡張子含む）までです。



お知らせ

- 設定できる着信メロディーファイルの仕様は、以下の通りです。
 - ・種別 :スタンダードMIDIファイルFormat0（拡張子は*.mid）
 - ・サイズ :30Kbyte以下
 - ・ファイル数:最大8個
- 使用できないファイルが選択された場合は、次のように動作します。

こんなときは	動作
固定曲と同じ名前のファイルを選択した場合	エラーを表示します。 ファイルは追加できません。
ファイルサイズが30Kbyteより大きい場合	エラーを表示します。 ファイルは追加できません。
スタンダードMIDIファイル Format 1、 Format2のファイルを追加した場合	ファイルは追加されますが、再生されません。
ユーザー設定曲と同じ名前のファイルを選択 した場合	エラーを表示します。 ファイルは追加できません。

設定データの保存・反映を行う

IP コードレス電話機の設定データをパソコンに保存します。また保存しておいた設定データで、IP コードレス電話機の設定を更新できます。

1 設定ソフトウェアのメインメニューを表示する。(●P86)

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 [無線機器設定]をクリックする。

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

3 一覧表示から、設定するIPコードレス電話機を1つ選択して、[設定画面起動]をクリックする。

IPコードレス設定メニューが表示されます。

4 IPコードレス設定メニューの[設定データ保存・反映]をクリックする。

設定データ保存・反映画面が表示されます。



5 <設定データを保存するとき>

[設定データ保存]をクリックする。

IPコードレス電話機から、設定データを受信します。

<設定データを反映するとき>

[フォルダー参照]をクリックして更新フォルダーを選択し、[設定データ反映]をクリックする。

IPコードレス電話機に、設定データを送信します。

設定データの保存・反映を行う



ワンポイント

● 設定データを保存したとき

[設定データ保存]で保存されるファイルは、次の通りです。

- ・ dat_wireless_[IPコードレス電話機MACアドレス].ini
- ・ dat_ipcl_[IPコードレス電話機MACアドレス].ini
- ・ dat_sys_[IPコードレス電話機MACアドレス].ini
- ・ dat_wlan_config_[IPコードレス電話機MACアドレス].ini

ファイルは以下の場所に保存されます。

- ・ OSが64bitの場合
C:\Program Files\ (x86) \NTT\WirelessSetupA1\IPCL [IPコードレス電話機MACアドレス]
- ・ OSが32bitの場合
C:\Program Files\NTT\WirelessSetupA1\IPCL [IPコードレス電話機MACアドレス]



お知らせ

- 保存した設定データファイルをエディターなどで編集し反映を行った場合、IPコードレス電話機の動作は保証できません。

ログ情報を取得する

IPコードレス電話機のログ情報を取得します。

1 設定ソフトウェアのメインメニューを表示する。(←P86)

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 [無線機器設定]をクリックする。

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

3 一覧表示から、設定するIPコードレス電話機を1つ選択して、[設定画面起動]をクリックする。

IPコードレス設定メニューが表示されます。

4 IPコードレス設定メニューの[ログ情報取得]をクリックする。

●[ログ情報取得]で保存されるファイルは、次の通りです。

- ・ A1IPCL_NORMAL_[IPコードレス電話機MACアドレス][年月日時分秒].log
- ・ A1IPCL_WIRELESS_[IPコードレス電話機MACアドレス][年月日時分秒].log

●ファイルは以下の場所に保存されます。

- ・ OSが64bitの場合
C:\Program Files (x86)\NTT\WirelessSetupA1
- ・ OSが32bitの場合
C:\Program Files\NTT\WirelessSetupA1

ファームウェアの更新を行う

IPコードレス電話機のファームウェアをFTPサーバーから取得して更新します。

1 設定ソフトウェアのメインメニューを表示する。(☛P86)

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 [無線機器設定]をクリックする。

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

3 [設定]メニューの[保守]をクリックする。

4 [ファイル参照]をクリックして、ファームウェアを選択する。

IPコードレス電話機用のファームウェアファイルは、拡張子a1*.ipcを指定してください。

5 一覧表示から、ファームウェアを更新するIPコードレス電話機を選択する。

6 [ファームウェア更新]をクリックする。

選択したIPコードレス電話機のファームウェアを更新します。



更新が完了すると、一覧画面に「OK」が表示されます。

7 すべてのファームウェア更新結果を確認する。



「ファームウェア更新OK」



「ファームウェア更新NG」



ワンポイント

- ファームウェア更新の状況は、一覧画面の結果欄に表示されます。「NG」が表示されているときには、ファームウェアは更新されていません。再度実行してください。
- ファームウェアはFTPサーバーのホームディレクトリとは別のフォルダーに保存してください。
- 結果表示 (OK/NG) は、次の処理を実行するまで前回の結果を表示します。



お知らせ

- [ファームウェア更新]をクリック後、3分以上画面が変わらなかった場合は、ファームウェアの更新に失敗しています。装置を再起動してください。
- 更新が成功すると、IPコードレス電話機が自動的に再起動します。ファームウェア更新を行ったあとの再起動には、時間がかかります。
- 一覧表示をする場合、ネットワークや無線の状態によっては検索できない場合があります。その場合は、接続を確認するか、再度[機器検索]をクリックしてください。

設定ソフトウェアの環境設定を行う

設定ソフトウェアの動作環境を設定します。

1 設定ソフトウェアのメインメニューを表示する。(☛P86)

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 [環境設定]をクリックする。

設定ソフトウェアの環境設定画面が表示されます。

3 動作環境を入力する。

環境設定画面では、以下のような設定ができます。

●通信ポート設定

設定項目	設定内容	入力条件
無線アクセスポイント用ポート番号	無線装置との通信に使用するポート番号を入力する	1 ~ 65535
IPコードレス電話機用ポート番号	IPコードレス電話機との通信に使用するポート番号を入力する	1 ~ 65535

●FTP設定

設定項目	設定内容	入力条件
サーバーアドレス	FTPサーバーのアドレスを入力する	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255
ユーザー名	FTPサーバーのログインユーザー名を入力する	ASCII文字、最大32文字
パスワード	FTPサーバーのログインパスワードを入力する	ASCII文字、最大32文字
イメージパス	ファイルを配置しているパスを入力する	ASCII文字、最大64文字

4 [更新]をクリックする。



ワンポイント

- [キャンセル] をクリックすると設定の更新を行わず、設定ソフトウェアのメインメニューに戻ります。



お知らせ

- ユーザー名、パスワード、イメージパスには、スペースを入力できません。
- 通信ポート設定を変更すると、通信ができなくなることがあります。通常は変更しないでください。

1 設定ソフトウェアのメインメニューを表示する。(☛P86)

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 [バージョン情報]をクリックする。

設定ソフトウェアのバージョン情報が表示されます。





設定ソフトウェアのエラーコード一覧

設定ソフトウェアで通信などに障害が発生した場合には、以下のエラーコードが表示されます。

エラーコード	エラー内容	対処方法	参照ページ
1	設定ソフトウェアの動作不良	● IPコードレス電話機との接続でエラーが発生しています。設定ソフトウェアを再起動してください。	—
2	IPコードレス電話機のエラー	● IPコードレス電話機が使用中です。IPコードレス電話機を待ち受け画面にしてください。 ● 設定ソフトウェアの環境設定を確認してください。 ● IPコードレス電話機がファームウェア更新を行っている場合、接続できません。しばらくしてから、設定ソフトウェアを実行してください。	▶P100
0xff00	IPコードレス電話機の未接続エラー	● IPコードレス電話機との接続に失敗しています。設定ソフトウェアを再起動してください。	—
0xff01	設定ソフトウェアが他の処理を実行中	● 2重起動している恐れがあります。PCを再起動してください。	—
0xff02	レスポンスタイムアウト	● IPコードレス電話機が応答しません。接続を確認の上、設定ソフトウェアとIPコードレス電話機を再起動してください。	—
0xff03	送信エラー	● データの送信に失敗しました。接続を確認の上、設定ソフトウェアとIPコードレス電話機を再起動してください。	—
0xff04	IPコードレス電話機通信エラー	● IPコードレス電話機が応答しません。接続を確認の上、設定ソフトウェアとIPコードレス電話機を再起動してください。	—
0xff05	処理中止	● 処理中に設定ソフトウェアが終了されました。継続して使用する場合は、再起動してから使用してください。	—
0xff07	FTP通信エラー	● 無線環境を確認してください。 ● FTPサーバーの設定を確認してください。 ● 設定ソフトウェアの環境設定でFTP設定を確認してください。	▶P100

IPコードレス電話機設定一覧

登録操作は  を2秒以上押し、メニュー番号を入力して行います。また、 を2秒以上押したあと、上下ボタンで目的のメニューを表示することもできます。

メニュー項目	メニュー番号	設定内容	初期値	参 照
機能設定		機能関連の設定をします。	—	—
着信設定		着信関連の設定をします。	—	—
着信音量設定	111	着信音量を設定します。	中	—
バイブレータ設定	112	バイブレーター振動の有無を設定します。	0:OFF	☛P76
マナーモード バイブレータ設定	113	マナーモード時のバイブレーター振動の有無を設定します。	1:パターン1	☛P77
スピーカ音量設定	12	スピーカーの音量を設定します。	中	—
受話音量設定	13	受話音量を設定します。	中	—
コントラスト設定	14	液晶ディスプレイのコントラストを設定します。	4	☛P82
クイックモード設定	15	クイックモードの有効/無効を設定します。	0:OFF	☛P81
ロックナンバー設定	16	端末ロック時のロックナンバーを設定します。	0000	☛P80
キータッチトーン設定	17	キータッチトーンの有効/無効を設定します。	1:ON	☛P75
最大通話数設定	18	最大通話状態のときの動作を設定します。	2:ハンドオーバ	☛P108

メニュー項目	メニュー番号	設定内容	初期値	参 照
無線設定		無線関連の設定をします。	—	—
接続情報設定		無線アクセスポイントとの接続関連の設定をします。	—	—
SSID設定	21	SSID（無線グループ名）を設定します。	wireless (対地1のみ)	←P30～ P32
セキュリティ設定		データ通信時のセキュリティー方式を設定します。	1:無し	
暗号キー設定			—	
暗号方式設定			—	
PSK設定			—	
IPアドレス設定		DHCPの有効/無効を設定します。 無効の場合、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。	1:DHCP ON	
IPアドレス			192.168.1.100	
サブネットマスク			255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ			0.0.0.0	
DNSサーバ設定		プライマリー/セカンダリーDNSサーバー情報を設定します。	—	
プライマリDNSサーバ		0.0.0.0		
セカンダリDNSサーバ		0.0.0.0		
スキャンチャンネル設定	22	無線アクセスポイントのスキャン（検索）で使用するチャンネル周波数を設定します。	1*6*11 (1.6.11chでの通信が可能)	←P33
情報取得設定		最大通話設定の送信、設定ソフトウェアとの通信関連の設定をします。	—	—
情報取得アドレス設定	231	無線アクセスポイントとの最大通話数制御の通信に使用するマルチキャストアドレスを設定します。	224.0.0.205	—
情報取得ポート設定	232	設定ソフトウェアとの通信用ポート番号を設定します。	60060	—
WPS	24	無線アクセスポイントとのWPSを開始します。	—	←P28
IP/MACアドレス表示		IP/MACアドレスを表示します。	—	—
IPアドレス表示	31	IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定値を表示します。 DHCP有効の場合は、取得した情報を表示します。	—	—
MACアドレス表示	32	IPコードレス電話機のMACアドレスと接続している無線アクセスポイントのMACアドレスを表示します。	—	—

IPコードレス電話機設定一覧

メニュー項目	メニュー番号	設定内容	初期値	参 照
電池使用期間		電池の使用期間表示、使用開始日の設定をします。	—	—
電池使用期間表示	41	使用開始日からの使用日数を表示します。	0000/00/00 0日	▶P34
電池使用期間リセット	42	使用開始日を設定します。	—	▶P34
データ初期化	#	ローカル設定の設定値を工場出荷状態に戻します。	—	—

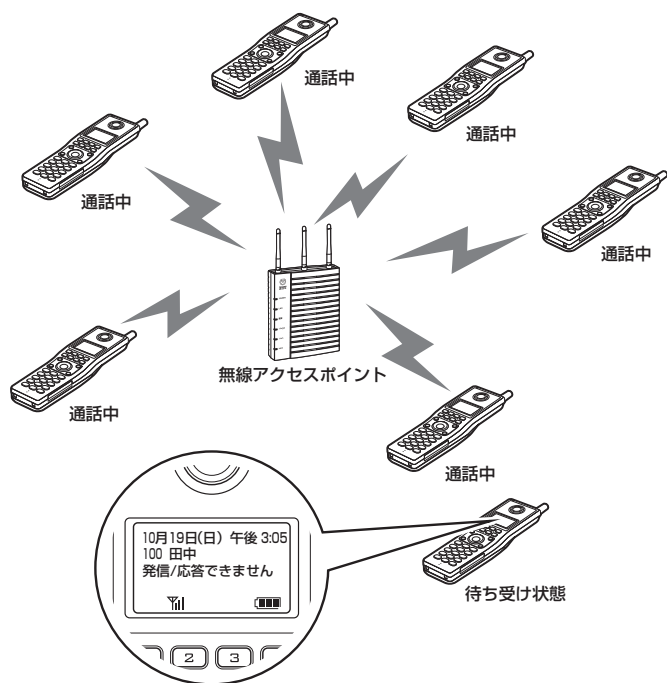
最大通話状態における動作を設定するには

接続している無線アクセスポイントで、最大通話数に達したときのIPコードレス電話機の動作を設定できます。

最大通話数を設定する

設定方法は、無線アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。


「最大通話数」にて設定した台数の通話を超えると、IPコードレス電話機の液晶ディスプレイに「発信/応答できません」と表示されます。この状態では、電話をかけたり受けたりすることはできません。



最大通話状態における動作を設定するには
IPコードレス電話機設定一覧

最大通話状態における動作を設定するには

最大通話時の動作設定をする

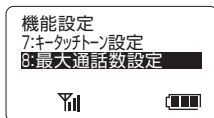
1  を2秒以上押す。

2 1   の順に押す。

「最大通話数設定」画面が表示されます。

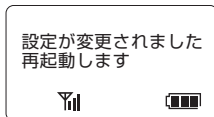


3 上下ボタンで「発信/応答不可」を選択し、決定ボタンを押す。





4  を押す。

メッセージが表示され、約5秒後にIPコードレス電話機が再起動し、最大通話数の設定が保存されます。



お知らせ

- 外から電話がかかってきたときや別の電話機が保留にしているときなどは、外線ランプは通常どおりに表示しますが、応答することはできません。
- 回線ボタンや  を押して、外線や内線を捕捉しているときに、最大通話状態になっても発信操作が行えます。
- プリセットダイヤルで電話番号を入力しているときに最大通話数になった場合は、プリセットダイヤルが継続されます。ただし、発信操作を行ったときには発信できません。
- 個別保留しているときは、回線ボタン、もしくは  を押すと通話に戻れます。
- 設置環境や電波状況によっては、設定した最大通話数以上の通話が可能な場合があります。
- 「ハンドオーバー」に設定していても、通話をしている場合は継続して使用できます。通話をしていない場合は、圏外となりハンドオーバーを行います。
- 「発信/応答できません」の表示は、通話している電話機が最大通話数以下になっても約20秒間続きます。
- 最大通話数設定は、電源を切っても保持されます。

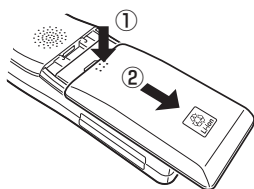
電池パックの取り扱い

IPコードレス電話機には専用の電池パックが入っています。電池パックは消耗品です。IPコードレス電話機の使用頻度にもよりますが、約2年程度で使用になります。長時間充電してもすぐに電池の残量がなくなる場合は、電池パックが消耗している可能性があります。新しい電池パック(カナ品名「※デンチパック-095」)に交換してください。なお、ご購入についてはサブライセンタ ☎0120-868289、またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

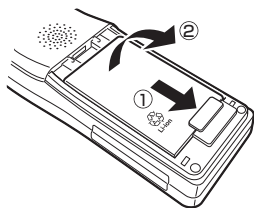
■電池パックを交換する

1 電源を切ります。
電源が入っているときは、**[電源]**を2秒以上押ししてから離し、本体の電源を切ります。

2 突起部を押しながら**(1)**、電池カバーを手前にスライドさせて**(2)**取り外す。

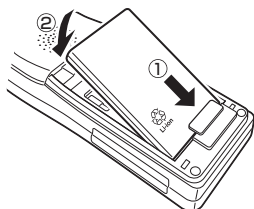


3 電池パックを下側に押しながら**(1)**、手前側に起こして**(2)**取り出す。

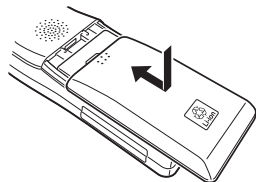


4 新しい電池パックを下部の電極に押し当てながら**(1)**、本商品にセットする**(2)**。

電池パックの印刷面が表になるようにセットしてください。



5 電池カバーを取り付ける。



6 充電台に置き、6時間以上充電する。

● お知らせ

- 電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。
- USBケーブルを取り付けたままでは、電源を切ることはできません。USBケーブルを取り外してから電源を切ってください。
- 本商品を充電台に置いたままでは、電源を切ることはできません。本商品を充電台から取り上げて電源を切ってください。

⚠ 危険

- 電池パックについて
電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。
・必ず専用のものをお使いください。
・取り出して充電しないでください。
・火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。
・充電には、専用の充電台をお使いください。
・端子を短絡させないでください。


■電池パック回収のお願い



電池パックはリサイクル可能なリチウムイオン電池です。交換の際は当社のサービス取所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

電池の残量がなくなったときは

電池の残量がなくなったときは、本商品を充電してください。


電池がなくなると「ピー」という電池残量警報音が鳴り、液晶ディスプレイの  マークが点滅する。

通話中の場合は、すみやかに通話を終わらせて本商品を充電してください。(●P27)

10月19日(日) 午後 3:05
100 田中
充電してください



お知らせ

- 通話中に電池残量警報音が鳴った場合、そのまま通話を続けると、約1分以内に電池がなくなり、通話が切れてしまいますのでご注意ください(電池パックの状態や周囲の温度などによってはさらに短い時間で電池がなくなる場合もあります)。
- 電池の状態や周囲の温度などの影響で、液晶ディスプレイの  マークでまだ電池が残っているように見えても、IPコードレス電話機を使用するとすぐに電池残量警報音が鳴ることがあります。

オプションをご利用になるには

より便利にお使いになるためのオプションが用意されています。オプションをご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

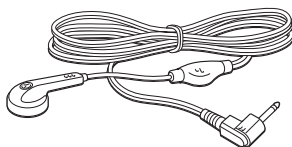
■電池パック (カナ品名: デンチパック-095)

IPコードレス電話機の電池パックを交換するとき
は、オプションの電池パックをご利用ください。



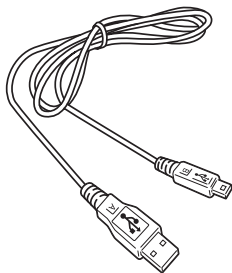
■イヤホンマイク

市販のイヤホンマイクをIPコードレス電話機のイヤホンマイク差込口に接続すると、両手を自由に
使いながら通話ができます。



■USB ケーブル (市販品:A-ミニBタイプ)

接続したパソコンや給電タイプのUSBハブから
充電できます。



オプションをご利用になるには
電池の残量がなくなったときは



お知らせ

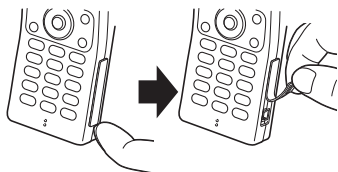
- イヤホンマイクのプラグは、イヤホンマイク差込口にしっかりと奥まで差し込んでご使用ください。プラグがしっかりと差し込まれていないと、ハウリング音が発生することがあります。
- 2.5φ 3極プラグタイプのイヤホンマイクに対応しています。
- USBケーブルをIPコードレス電話機に差し込むと、パソコンの画面上にポップアップメニュー「新しいハードウェアが見つかりました」が表示されます。
- USBケーブルを差したままでは電源を切ることができません。USBケーブルを外してから電源を切ってください。

オプションをご利用になるには

■ USB 差込口とイヤホンマイク差込口の使いかた

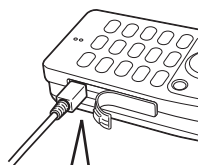
- 1** コネクタカバーを外す。
コネクタカバーの上端、または下端のくぼみに爪を掛けて外します。

<例> USB 差込口側のコネクタカバーを外す場合

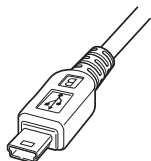


- 2** USBケーブル、またはイヤホンマイクを接続して使用する。

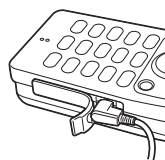
- USBケーブルを取り付ける場合



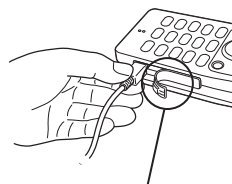
USBケーブルはA-ミニBタイプのコネクタが接続できます。



- イヤホンマイクを取り付ける場合



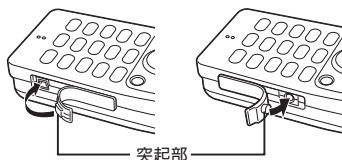
- USBケーブル、またはイヤホンマイクを取り外すときは



コネクタといっしょにコネクタカバーを引き抜かないように注意してください。

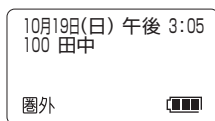
- 3** コネクタカバーを戻す。

USB差込口またはイヤホンマイク差込口に、コネクタカバー内側の突起部を合わせて押し込みます。



通話できる範囲から外れたときは (圏外)

IPコードレス電話機が通話できる範囲から外れたときは、画面に「圏外」の文字が表示されます。このときは、通話できる範囲まで移動してください。



■待ち受け中や電話をかけようとしたとき

お話しできる範囲から外れると、液晶ディスプレイの圏外が表示されます。圏外が消えてYIIが表示される場所まで移動して、おかけ直してください。(●P29)

あらかじめ、IPコードレス電話機で電話をかけて、無線アクセスポイントからの電波の弱い場所を確認しておくことをお勧めします。なるべく電波の強い場所でご使用ください。

■お話し中のとき

お話しできる範囲から外れると、「ピー…ピー…」という圏外警報音が鳴ります。または、相手の声が聞こえなくなります。電波の強い場所まで移動してください。(●P24)

■着信中のとき

着信中にお話しできる範囲から外れると、液晶ディスプレイの圏外が表示され、着信に応答することができません。お近くの別の内線電話機で応答してください。

通話できる範囲から外れたときは(圏外)オプションをご利用になるには



お知らせ

- お話し中に圏外になったときは、圏外警報音が鳴ったあと、電話が切れることがありますのでご注意ください。
- コンクリートパネルで仕切られている場所など、周囲の環境条件によってお話しできる範囲が狭くなることがあります。
- 電波の状態によっては圏外警報音が鳴らないで電話が切れることがあります。

こんな音がしたら

IPコードレス電話機から聞こえる音には、以下の意味があります。

●受話口から聞こえる音

音	IPコードレス電話機の状態	音の意味
ツーツー… (内線発信音)	Ⓔを押したとき	他の内線電話機を呼び出せます
ツー (外線発信音)	回線ボタンを押したとき	電話をかけられます
ブルブルブル…ブルブルブル (呼出音)	外線または内線で相手を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています
ブーブー… (話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき	お話し中です

●スピーカー口から聞こえる音

音	IPコードレス電話機の状態	音の意味
ピー…ピー…ピー (圏外警報音)	通話中にお話できる範囲から外れたとき	無線アクセスポイントに近づいてください
ピー (電池残量警報音)	電池残量が規定値以下になったとき	充電台に置いて充電してください
ピピピピ…ピピピピ… (内線着信音)	内線で呼び出されているとき	内線で呼び出されています
ピピピピピピピピピ… (外線着信音)	外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
ピッ (キータッチトーン)	ダイヤルボタンを押したとき	ダイヤルボタンが押されました

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらときは、修理に出す前に以下の点をご確認ください。

●基本的な使いかた

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	IPコードレス電話機の電源が入っていない	(電源)を2秒以上押してください	●P26
	電池切れになっている	充電してください	●P27
	電池パックが正しくセットされていない	電池パックを正しくセットしてください	●P26
	無線アクセスポイントから離れすぎている	無線アクセスポイントに近づいてください	●P29
電話がかかけられない	無線アクセスポイントから離れすぎている	無線アクセスポイントに近づいてください	●P29
	端末ロックが設定されている	端末ロックを解除してください	●P79
	回線がいっぱいになっている	少し待ってからかけ直してみてください	—
	最大通話数に達している	液晶ディスプレイから「発信/応答できません」の表示が消えるまでお待ちください	●P108
着信音が鳴らない	IPコードレス電話機の電源が入っていない	(電源)を2秒以上押してください	●P26
	無線アクセスポイントから離れすぎている	無線アクセスポイントに近づいてください	●P29
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	●P8
	マナーモードに設定されている	マナーモードを解除してください	●P78
通話が突然切れた	電波が届かないため	電波の届く場所に移動してかけ直してください	●P24、P29
	電池残量が少なくなった	充電してください	●P27
通話に雑音が入ったり、お話しが途切れる	無線アクセスポイントから離れすぎている	無線アクセスポイントに近づいてください	●P29
	電波の弱いところにいる	通話に雑音が入らないところやお話しが途切れないところ(電波の強いところ)に移動してお話してください	●P29
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	●P8
	無線アクセスポイントとの間に障害物がある	場所を変えてお話ししてみてください	●P113
お話し中の相手の声が途切れる	IPコードレス電話機から送信される電波の強さが、受信する電波より弱いため	お話しが途切れないところ(電波の強いところ)に移動してお話してください	●P29

故障かな?と思ったら
こんな音がしたら

(次ページにつづく)

故障かな?と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください	☛P35
	受話口に耳がきちんと当たっていない	耳をきちんと受話口に当ててください	—
お話し中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定している	受話音量を下げてみてください	☛P35
無線機の音が混信して聞こえる	近くに無線機などがある	場所を変えてお話ししてみてください	—
着信音が小さい 着信音が大きすぎる	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください	☛P37
	着信音量を大きく設定している	着信音量を下げてみてください	☛P37
充電台に置いて も充電ランプが 点灯しない	充電台の電源アダプターがコンセントから外れている	電源アダプターをきちんとコンセントへ差し込んでください	☛P27
	充電台に正しく置かれていない	充電台に正しく置いてください	☛P27
	電池パックが正しくセットされていない	電池パックを正しくセットしてください	☛P26
	電源アダプターの電源コードが傷んでいる	電源アダプターをコンセントから抜いて当社のサービス取扱所へご相談ください	—
充電ランプが 点滅する	充電台に正しく置かれていない	充電台に正しく置いてください	☛P27
	電池パックが正しくセットされていない	電池パックを正しくセットしてください	☛P26
	電池が寿命のため	電池パックを交換してください	☛P109
	周囲の温度が5℃以下や35℃以上の環境で使用している	充電は周囲の温度が5～35℃の間で行ってください	☛P27
6時間以上充電 しても、すぐに 使えなくなる	充電台に正しく置かれていない	充電台に正しく置いてください	☛P27
	電池が寿命のため	電池パックを交換してください	☛P109
さわるとあたたかい	充電されたため	故障ではありません	☛P24、 P27

■ IPコードレスの液晶ディスプレイに表示されるエラーコードについて

下記以外のエラーコードが表示された場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

エラーコード	エラー内容	対 処
002	IPアドレスが正常に設定されていません。	無線アクセスポイントとの接続を確かめてください。 無線アクセスポイントが接続されているネットワークに主装置が接続されているか確認してください。 IPコードレスのIPアドレスが設定されているか、確認してください。
003 004 005 006 007	主装置との通信ができていません。	無線アクセスポイントとの接続を確かめてください。 無線アクセスポイントが接続されているネットワークの状況を確認してください。

■ 設定ソフトウェアで設定できない

こんなときは		確認してください	参照ページ
動 し な い 設 定 画 面 が 起	機能設定画面が表示されない	● IPコードレス電話機で操作を行うと通信が切断されてしまいます。 ● FTPサーバーが起動しているか確認してください。 ● 環境設定のFTP設定を確認してください。	● P83、 P84
	無線設定画面が表示されない		
	設定内容保存・反映ができない		
	ログ情報取得ができない		
設定できない		● 設定できる項目毎に入力制限があります。 ● FTPサーバーが起動しているか確認してください。	

用語の説明



アルファベット

- AES** …… Advanced Encryption Standardの略。米国商務省標準技術局(NIST)によって選定作業が行われている、米国政府の次世代化標準暗号化方式です。
- Bluetooth** …… ノートパソコンや携帯電話を用いて、数メートルの距離でケーブルを使わずにデータのやり取りを行う無線通信の技術の一つです。
- DP回線** …… ダイヤル回線(パルス回線)のことです。
- FTP** …… File Transfer Protocolの略です。インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークでファイルを転送するときに使われているプロトコルのことです。
- FTPサーバー** …… コンピュータネットワークにおいて、クライアントコンピュータに対し、自身の持っているFTP機能を提供するコンピュータのことです。
- IEEE 802.11b/g** …… IEEE(米国電気電子学会)の802委員会が定めた無線LANの規格の一つです。2.4GHzの無線周波数帯域(無線免許なしで使用可能)を利用して、約54Mbpsの速度で通信を行います。
- INSネット64** …… INSネットサービスの中で、1回線で情報チャネル(B)2本、信号チャネル(D)1本を同時に利用できるサービスです。
- IPアドレス** …… インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに接続されたコンピュータ1台1台に割り振られた識別番号のことです。
- IP電話サービス** …… IP網を利用して提供する音声電話サービスです。音声とデータの回線を統合することにより、ネットワーク管理コストを削減できます。
- ISDN回線** …… デジタル回線のことです。
- MACアドレス** …… MACアドレスは、イーサネット接続時に使用される物理的なアドレスで、データ通信時の送信先/送信元アドレスで使用されるものです。MACアドレスとイーサネットアドレスは同義語です。
MACアドレスは6バイトからなり、各LAN端末に個別の値が割り当てられます。(MACアドレスは、LANのインターフェイスに世界で1つ割り当てられる番号です。また、変更も不可能です。)
- PB回線** …… プッシュ回線(トーン回線)のことです。
- SSID** …… Service Set Identifierの略。無線アクセスポイント(アクセスポイントモード)とIPコードレス電話機が認証を行うためにやり取りを行うIDです。
- TKIP** …… パケット偽造やリプレイ攻撃などに対応するため、一定時間ごとに暗号を自動的に変更する暗号化方式です。長時間盗聴しても、暗号が一定期間で変化するので暗号の解析が不可能です。

- VoIP IP網を利用して提供する音声電話サービスです。
- WPS Wi-Fi Protected Setupの略。無線LANの設定を簡単に行うための統一規格です。

五十音

【ア行】

- 空き外線 使用していない外線で、発信・着信ができる外線のことです。
- オフフック ハンドセットを上げることです。IPコードレス電話機では、を押すこと、またはクイックモードが設定されているときに電話機を充電台から取りあげることです。
- オンフック ハンドセットを置くことです。IPコードレス電話機では、を押すこと、またはクイックモードが設定されているときに電話機を充電台に置くことです。

【カ行】

- 外線捕捉 「ツイー」 という外線発信音が聞こえる状態を外線捕捉の状態といいます。この状態のときに外へ電話をかけることができます。
- 口頭転送 通話中の相手を保留し、転送先の相手を口頭で呼んで転送することです。
- 個別着信 ダイヤルイン着信などで、着信先が個別となることです。

【サ行】

- 索線ボタン 指定された外線グループ中の空き外線を捕捉し、着信表示・応答、個別保留ができるように割り付けられた外線ボタンのことです。
- サブアドレス INS ネット64/1500 を利用するときに、補助的に使用する内線番号のことです。
- サブネット 大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の、管理単位となる小さなネットワーク。IPアドレスは、所属するサブネットを特定するアドレス（ネットワークアドレス）と、サブネット内での端末を特定するアドレス（ホストアドレス）から構成されており、ネットワークアドレスが上位何bitかをサブネットマスク（マスク長）で指定する。
- システム管理者 「システム設定」によって、システム設定のうちの一部を行う資格を与えられている内線電話機のことです。メニュー設定の「システム一括設定」を操作することができます。ただし、IPコードレス電話機はシステム管理者には設定できません。
- システム設定 あらかじめいろいろな機能について設置時に設定することです。

【タ行】

- 着信音** ……電話がかかってきたときに鳴る呼出音のことです。
- 追加ダイヤル** ……発信履歴ダイヤル、着信履歴ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳ダイヤルなどにおいて、ダイヤルをさらに追加して発信する機能のことです。ただし、ISDN回線では追加ダイヤルを行うことはできません。
- デジタル回線** ……ISDN回線、TDM専用線、およびIP専用線のことです。
- デフォルトゲートウェイ** ……所属するネットワークの外のコンピュータへアクセスする際に使用する「出入口」の代表となるコンピュータやルーターなどの機器のことです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合に、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。
- 転送電話機能** ……外線通話中の相手を別の外線へ転送することです。

【ナ行】

- 内線捕捉** ……「ツーツー…」という内線発信音が聞こえる状態を内線捕捉の状態といいます。
この状態のときに他の内線電話機を呼び出すことができます。

【ハ行】

- パーク保留** ……通話中にパーク保留ボタン（回線ボタンに割り付ける）を押すことにより、通話相手を保留し、任意の電話機（端末）から保留解除ができる機能です。
- ハンドオーバー** ……無線LAN端末が無線アクセスポイントの電波の受信範囲から外れた場合に、別の無線アクセスポイントに登録することができる機能のことです。
- プリセットダイヤル** ……オンフック状態でダイヤルしたあとに、外線捕捉または内線捕捉をして発信する機能のことです。
- 放送着信** ……グループ内のすべての端末を呼び出すことです。

【ヤ行】

- 呼出状態転送** ……通話中に相手を保留し、転送先の相手を呼び出したときに、相手が応答する前に転送することです。

数字・アルファベット

DHCP	31
DNSサーバー	32
IPアドレス	31
IPコードレス電話機	107
PB	39
SSID	30
USBケーブル	
(A-ミニBタイプ)	111、112
USB差込口	19、112

五十音

【ア行】

相手の方に待っていただく	42
アンテナ	19
イヤホンマイク	111
イヤホンマイク差込口	19、112
上ボタン(上下左右ボタン)	19
液晶ディスプレイ	19、21
液晶バックライト	20
同じパーク保留ボタンを設定した電話機で 取れるように保留する	44
オプション	111
音量	
受話音量を調節する	35
着信音量を調節する	37

【カ行】

外線着信	40
外線発信	38
回線ボタン	19
外線ランプ	20
キータッチトーン	75
共通保留	42
共用電話帳	61
メモリー番号で検索してかける	55
切/電源ボタン	19
緊急番号ダイヤル	39
クイックモード	81
クリアボタン	19

決定ボタン	19
圏外	113
口頭転送	45
故障かな?と思ったら	115
コネクタカバー	112
個別電話帳	61、63
個別保留	43
コントラスト設定	82
こんな音がしたら	114

【サ行】

最大通話数	107
最大通話数設定	108
サブアドレス	39
サブネットマスク	31
下ボタン(上下左右ボタン)	19
充電	
充電台	18
充電ランプ	19、20
受話音量を調節する	35
受話口	19
仕様	124
上下左右ボタン	19
スキャンチャンネル設定	33
スピーカー口	19
設置について	4、7、8
送話口	19
即時発信	39

【タ行】

ダイヤルボタン	19
ダイヤルライト	20
端末ロック	79
着信	
着信ランプ	19、20
着信を振動でお知らせする	76
着信音	120
着信音量を調節する	37
着信未応答通知	40
着信履歴	72
着信履歴の削除	73、74
着信履歴ボタン	19

索引

- 長時間通話警報・・・・・・・・・・ 39
 長時間保留警報・・・・・・・・・・ 42
 追加ダイヤル・・・・・・・・・・ 120
 通話できる範囲から外れたとき・・・・ 113
 通話ボタン・・・・・・・・・・ 19
 電源アダプター・・・・・・・・・・ 18
 電池・・・・・・・・・・ 18
 電池カバー・・・・・・・・・・ 18
 電池の残量がなくなったとき・・・・ 110
 電池残量警報音・・・・・・・・・・ 110
 電池パック・・・・・・・・・・ 18、111
 電池パック回収のお願い・・・・ 109
 電池パックの取り扱い・・・・ 109
 電池パックを交換する・・・・ 109
 電話がかかってきたとき・・・・・・・・ 40
 続けてかかってきた電話に応答する・・・・ 40
 電話機設定一覧・・・・・・・・・・ 104
 電話帳ダイヤル・・・・・・・・・・ 55
 着信履歴を電話帳に登録する・・・・ 68
 電話帳グループの電話番号を検索してかける
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
 電話帳グループの名前をつける・・・・ 67
 電話帳に登録する・・・・ 63
 電話帳を選択して削除する・・・・ 66
 電話帳を編集する・・・・ 65
 発信履歴を電話帳に登録する・・・・ 68
 フリガナ検索・・・・ 57
 電話帳ボタン・・・・・・・・・・ 19
 電話をかける・・・・・・・・・・ 38
 充電台から取りあげてかける・・・・ 81
 使用する外線を選んで電話をかける・・・・ 38
 電話帳ダイヤルでかける・・・・ 55
 電話をかけてきた相手に
 こちらからかける・・・・ 72
 前に電話をかけた相手に再びかける・・・・ 69
 電話を取りつぐ・・・・・・・・・・ 45、46
 特長・・・・・・・・・・ 17
- 【ナ行】**
 内線通話・・・・・・・・・・ 48
 内線でお話する・・・・・・・・・・ 48
 内線ボタン・・・・・・・・・・ 19
- 内線ランプ・・・・・・・・・・ 20
- 【ハ行】**
 パーク保留・・・・・・・・・・ 44、120
 パーク保留ボタン・・・・ 44
 パーク保留ランプ・・・・ 44
 廃棄(または譲渡、返却)される場合の
 ご注意・・・・・・・・・・ 11
 バイブレーション・・・・・・・・・・ 76
 発信自動捕捉・・・・・・・・・・ 39
 発信履歴・・・・・・・・・・ 69
 発信履歴の削除・・・・・・・・・・ 70
 発信履歴ボタン・・・・・・・・・・ 19
 ハンドストラップ取付穴・・・・・・・・ 19
 左ボタン(上下左右ボタン)・・・・ 19
 フックボタン・・・・・・・・・・ 19
 プッシュホンサービスを利用する・・・・ 39
 プリセットダイヤル・・・・・・・・・・ 120
 放送着信・・・・・・・・・・ 40、120
 保守サービス・・・・・・・・・・ 125
 保留・・・・・・・・・・ 42
 同じパーク保留ボタンを設定した電話機で
 取れるように保留する・・・・ 44
 普通に保留する・・・・ 42
 他の電話機で取れないように保留する・・・・ 43
 保留転送・・・・・・・・・・ 46
 相手の方のお話しに戻る・・・・ 47
 呼び出された方の応答を待たずに
 転送する・・・・ 47
 保留ボタン・・・・・・・・・・ 19
- 【マ行】**
 マナーモード・・・・・・・・・・ 77
 マナーモードの機能の設定・・・・ 77
 マナーモードの設定／解除・・・・ 78
 右ボタン(上下左右ボタン)・・・・ 19
 無線LAN・・・・・・・・・・ 9、10、17
 無線アクセスポイント・・・・ 17、24、29
 メニューボタン・・・・・・・・・・ 19

文字を入力する	52
英字モード	53
カナモード	53
漢字・かなモード	52
数字モード	53
文字と機能の割り当て一覧表	54
文字を修正する	54

【ヤ行】

呼出状態転送	47、120
--------	--------

【ラ行】

ランプ表示	20
ロックナンバー	79、80

【ワ行】

話中着信	40
------	----

仕 様

■仕 様

	電話機本体	充電台
寸法・質量	47mm (幅)×26.8mm (奥行)×141.1mm (高さ) (アンテナおよび突起部を含まず) 約115g (電池パックを含む)	68mm (幅)×73.8mm (奥行)×40.7mm (高さ) 約50g (電源アダプターを含まず)
使用電源	専用リチウムイオン電池 DC3.7 V 1100 mAh	AC100 V (50/60 Hz) 専用電源アダプター DC5 V 1A
消費電力	最大2.1W 最大1.8kcal/h	最大3W 最大2.5kcal/h
充電時間	約6時間	—
見通し距離	無線アクセスポイントから約60 m	—
連続通話時間	約5.5時間	—
連続待ち受け時間	約100時間	—

- 連続通話時間は常温での算出値です。周囲温度や電池の状態によって変わります。
- 連続待ち受け時間は、電波が安定している場所における算出値です。電波の弱い場所、電波の届かない場所では電池の消費が多いため、表中の数値とは異なります。
- 仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください)。

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へおつかいがいするのための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください) ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおつかいがいするのための費用が不要となります。

●故障に関するお問い合わせ

局番無しの113番(無料)へご連絡ください。

※携帯番号・PHSからは「0120-444113」(無料)にてお受けしております。

受付時間:24時間(午後5時~翌朝午前9時の間は録音による受付となります)

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地区)でご利用のお客様

お問い合わせ先: ☎ 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100 (通話料金がかかります)

受付時間 9:00 ~ 17:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)でご利用のお客様

お問い合わせ先: ☎ 0120-248995

受付時間 9:00 ~ 17:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後7年間保有しております。なお、部品によっては7年間保有が困難なものもあります。

詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

著作権と使用許諾

搭載されているソフトウェアの著作権と使用許諾に関する情報

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give

the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications

and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.) Each licensee is addressed as “you”.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program).

Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program’s source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the

terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.

(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a

著作権と使用許諾

work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place,

then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License.

However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement

or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is

permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT

著作権と使用許諾

NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items-whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program ‘Gnomovision’ (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon,
President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.



電池パック（デンチパック-095）は、環境保全のため、交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9:00～17:00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

（携帯電話・PHSからも利用可能です）

受付時間 9:00～17:00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2016 NTT EAST・NTT WEST



本 3387-1 (2016.3)
A1-IPCLトリセツ<1>